新京日日新聞
夕刊
八月十日
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三二〇五　營業局專用(3)三二〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

上海の事態愈よ緊迫

大山中尉襲撃事件は作爲的意圖明白
支那側各機關警戒緊張

【上海十日發國通】北支事變發生以來上海の空氣も漸次惡化し來つたのでわが上海陸戰隊では在留邦人の權益擁護に萬遺憾なきを期し嚴重警戒に當つてゐたが、モニユメント事件突發により形勢俄然極度の緊迫を呈するに至つた支那保安隊より突如射撃され即死するに至つた大山中尉は同夜上海西部にあるわが豐田紡、内外綿等各工場警備のため常置されてゐる西部派遣隊長として午後六時半頃連絡のため陸戰隊本部に向ふ途中保安隊の亂射を浴びたもので、當時同中尉は軍裝をなしてゐた、從つて支那保安隊の射撃は全く作意的意圖に出てゐることは明白である

【上海十日發國通】事件勃發するや上海市政府警察當局および淞滬警備司令楊虎氏は直ちに警察隊、保安隊および警衛團に支那街の警戒を命ずるとゝもに蔣介石氏に事件を急報し、また電話をもつて刻々情報を國民政府軍政部當局に報告し非常な緊張を示してゐる

我現地機關徹宵協議

【上海十日發國通】岡本總領事、田尻、吉岡、曾根各書記官、本多海軍武官、日高參事官、第〇艦隊參謀等は事件發生とともに總領事館に參集、事件善後處置について徹宵重大協議が遂げられた

本來の使命に向ひ我が方は邁進す
海軍固き決意を持す

海軍省副官談

【東京國通】海軍では今次の北支事變勃發以來帝國政府の事件不擴大の方針に基いて不祥事件の起らぬやう極めて愼重なる態度をもつて在留邦人の保護と帝國の權益擁護に遺憾なきを期してきたもので、帝國海軍としては今日まで自重に自重を重ね居留民保護引揚を第一義として最も苦心をしてきたが今や上海を除く長江流域に亙る直接警備の大任は一應完了したので、今後若し支那側が居留民引揚後のわが方權益を侵害するか、または上海におけるわが居留民の安全を脅かすが如きことあらばわが海軍は最も公正嚴肅なる態度をもつて海軍本來の使命に向つて邁進せんと極めて固き決意を持してゐる

【東京國通】海軍省は大山中尉射殺事件について十日午前一時左の如く副官談を發表した

第三艦隊參謀長よりの來電によれば

一、九日午後六時半頃上海特別陸戰隊附海軍中尉大山勇夫氏は一等水兵齋藤要藏の運轉する陸戰隊自動車にて上海西部虹橋飛行場東方エキステンションたるモニユメント路上（飛行場東南隅の正門を北約百米）において支那保安隊員のため射撃殺害せられ齋藤一等水兵は目下行方不明なり

二、上海市長及び淞滬警備司令より日支兵交戰中との報により午後七時頃現場に到り調査せる沖野武官の報告によれば、該自動車は道路東側に乘出し停止し前後左右に數十發の小銃彈痕及び數個大型破孔あり、大山中尉は身に數彈を受け、且つ顏面を粉碎され車外に倒れあり、運轉臺附近に多量の流血あり、附近には保安隊及び支那兵密集し警戒嚴重なり

田村大尉以下廿五勇士の慰靈祭執行

【北平九日發國通】通州および南苑の戰鬪で名譽の戰死を遂げた〇〇部隊の田村房夫大尉以下二十五勇士の慰靈祭が九日午後四時半から佛式により綏靖公署營庭で執行された戰時ながらも遺骨を中心に數十の花輪が飾られ〇〇、〇〇の兩部隊長及び將兵參列いとも嚴肅に行はれたが遺骨は十日一先づ天津まで運ばれ夫々原隊に歸還の筈

長江沿岸の在留民引揚完了

【上海九日發國通】長江沿岸の在留民引揚は特殊關係者を除き九日をもつて完了したが日本汽船による貨物の輸送も皆無となつたので、日清汽船では九日より天津、廣東行の沿岸航路を除き長江筋の運航を停止することゝなつた

機械科部隊も北上開始
第三次動員へ

【南京九日發國通】全國軍首腦部を網羅する八日の國防會議で南京の空氣はいやが上にも緊張してゐるが、大體戰線配備を完了し南京側はいよいよ第三次動員に入り八日夕刻當地で待機中の機械科部隊は九日朝にかけ津浦線で北上を開始、南京を中心とする長江下流部隊も兩三日以來盛んに移動中で、鎭江、蘇州等の滬寧沿線各地はこれら移動部隊で充滿してをり、抗日軍の大本營たる南京城は三萬の兵力と野砲五十門、山砲四十門、迫撃砲約百門をもつて固められ別に憲兵二個團と武裝保安隊三千名が戰時戒嚴令下に各城門と市内外の要所に配置されてゐる

一片の陳謝もなさず却つて挑戰態度
重大化は免れず

【上海十日發國通】事件發生とゝもに支那側は自己の非を覆ひ奇怪にも現場附近の戰備配置を强化し、殊に北停車場の西南にある共同租界と支那街との境界線には俄かに土囊堡壘に據る多數の保安隊が嚴重守備の態勢をとり、手榴彈を所持する偵察隊は全部待機を命ぜられ、トラツク、バスを集結してゐるなど極めて挑戰的不穩の態度を持してゐると、もに一方市政府首腦部は事件發生とゝもに何等陳謝の誠意を示さず、しかも現場には新聞通信記者及び寫眞班などの出入を嚴重拒否して事件を闇に葬り去らんとし居るなどあらゆる點において支那側の示した不遜不誠意は許し難きものがある、わが方においては飽迄事件の不擴大を願ひ誠意をもつてこれが解決に當らんとしてゐるが、かくの如く支那が言語同斷の態度をとり居る限り何時如何なる不測狀態を招來するやも知れぬ有樣にあり、事態は重大化して來た

議會の調査要求
支那駐屯米兵引揚問題

【ワシントン八日發國通】今回の北支事變に關聯して米國議會方面で支那駐屯の米國軍引揚論が盛んに唱へられてゐるが、マサチユーセツツ州選出共和黨下院議員ヂヨージ・チンカム氏は、この問題につき正式に議會の調査を要求すべく決議案を提出する意向なる旨八日發表した

共同租界に土囊堡壘構築
支那側の不法極點に達す

【上海十日發國通】事件發生のモニユメント路は共同租界（エキステンシヨン）で支那兵が公然これを占領し、路上に土囊堡壘を構築して通行を阻害したことは既に支那側が租界を蹂躪した越軌不法行爲で、共同租界工部局もこの點に異常な關心を示し、支那側に嚴重抗議をなす模樣である

北四川路一帶不氣味な沈默

【上海十日發國通】連日の不安に恐怖狀態に陷つてゐた支那街及び租界居住の支那人は九日の保安隊不法射撃事件の報に人の出盛る九時頃から大通の商店は大戶を下ろして人通り全く絕え一段と不安の色が濃くなつて北四川路一帶の繁華街は死の街と化し不氣味な沈默に靜まり返つてゐる

ソ聯から續々と飛行機を輸送
積極的支那援助に出る

南京政府に對するソ聯邦の態度に就いては各方面から注視されてゐるが、在滿ソ聯某機關の職員が密かに語るところに依れば、ソ聯は既に飛行機約百五十及び數量不明の戰鬪機多數を支那方面に輸送し愈よ積極的援助をなすに決定したと

人事往來

滑京

▲大西定彥氏（日立製作所）九日來京ヤマトホテル
▲阿部重兵衞氏（三井大連支店長）同
▲三井高修氏（三井鑛山常務）同
▲大井清一氏（京大教授）同
▲河野董吾氏（電々）同
▲三溝又三氏（日滿商事重役）同國都ホテル
▲鈴木鷹信氏（滿鐵）同
▲西山一穗氏（第一生命）同
▲渡邊義一氏（奉天實業家）同
▲米津百松氏（角業）同
▲中谷定治氏（三江省公署）同
▲阿部謙四郞氏（興銀）同
▲中野正二氏（信泰公司）同
▲安部袈裟男氏（奉天金融）同
▲土田德造氏（日滿商事）同
▲吉野淑計氏（吉林高等法院次長）同
▲峰旗充良充氏（吉林）同國際ホテル
▲橘辰之助氏（大連金融組合理事）同滿蒙旅館
▲上野精作氏（會社員）同
▲武井松臣氏（同）同
▲工藤雄助氏（同）同
▲久原仲東氏（貿易商）同
▲小岩佐次郞氏（材木商）同蓬萊ホテル
▲荒木馨氏（滿鐵）同
▲下島□氏（文藝春秋社）同富士屋
▲伊原勇氏（官吏）同
▲紅晋氏（商業）同
▲小畑貞三氏（會社員）同
▲近藤續行氏（官吏）同
▲鳥井讓氏（松田工業）同
▲後藤末人氏（同）同
▲永田政人氏（藥種商）同
▲大久保宅次氏（同）同
▲岡村淳氏（三田組）同

出發

▲長谷川太郎吉氏　九日發奉天へ
▲越智兵一郞氏　同
▲妹尾豐治氏　同
▲米井俊一氏　同
▲郡喜重氏　同
▲堤雄平氏　同
▲吉田泰久氏　同
▲村椿順氏　同
▲淺田振作氏　同大連へ

そこし

□
暴逆また上海に起る、かれの不法をいま明白に列國も見たであらう

□
邦人引揚げの犧牲に、加へられるのがこの侮日ではたまつたものでない

□
南京の屋根や壁を灰色にするついでに、靑天白日旗も塗り替へては如何

□
黃海の海戰を偲ぶ日、黃浦江上にわが戰士愈よ緊張してゐやう

□
雨の後なほ殘暑あらう、さてその次に惡疫などの噂を聞きたくないもの

白い天使（上演上映禁）
林房雄作　吉田眞里畫

（六一）
女の望み（四）

『さう思ふてはすまんぞ。やる方はその場の氣ばらしくらひに考へてゐるだらうが、やられる方は一生をめちやくにされることじやないか！──かまはんから、今すぐでかけておまへのブルジョア兄貴をぶちのめしてやれ！』
『うん、やらうさ思つてるだが──』
『だが──』
さうしたてんだ』
『だが、兄貴がみつからないのだ。その上──』
『その上？』
『その上心配なのは、弘子はぼくを誤解してゐるらしいのだ。もうぼくにはけつしてあはぬさいつて。
こんな手紙をよこしたのだ弘子は現在の生活に滿足して兄貴を愛しはじめてゐるのではなからうか？それが心配で……』
『その手紙をみせろ』
×　×　×　×
よみをはるさ、篠田は、考へぶかさうにいつた。
『そんなこさも、あるかも知れん。
貧乏人さいふものは、さうかするさ、ブルジョアの生活につよいあこがれをもつこさがあるからな。
いや、自覺しないあひだはみなそれをもつてゐるさいつてもいゝ。
特に若い女には、それがひざいらしい。
指輪一つ、帶一本で、やすやすさ誘惑される女は、貧乏人のあひだには、殘念ながらありすぎるほさあるからな』
『……』
『女だけをせめようつてのではない。
おれは、樂な生活をのぞむことは身をかざり、おしやれをすることは、人間の──男にも女にも──あたりまへののぞみで、當然の調和であるさ思つてゐた。たゞ今のでたらめな社會では、貧乏人には、まさもなくらしかたをしては、その慾望をみたすこさができないのでついばかなまねをする。女の場合には、指輪一つでころぶさいつたやうにさ……』
『ぼくもそれを心配してゐるのだ。……』
もしも弘子もそんなふうにして……』
『さうだ、それもあるかもしれぬ』
篠田は、なにか思ひだしたやうに自分にいつてきかせるやうな調子でつゞけた。
まつたく、貧乏さいふものは、人間をひざく卑屈にするものだ。
金持の家におまへの兄貴みたいな、手におへないやつが生れるやうに、貧乏人の家には、卑屈な蟲みたいなやつがよく生れるのだ。
おれだつて、さうだつた。
おれが、ブルジョアのまねをして、金をためて、出世しようさいふのぞみをすて、逆にブルジョアざもをたゝきつけてやらうさ決心するまでには──
つまり一人前の勞働者さしての自覺をもつまでにはずいぶんながい時間がかゝつた。
おれのおやぢは、北九州の鑛夫だつたが……』
さ、篠田は、重い口調で、ぽつりぽつり自分の經歷をはなしはじめた。

秋草

二、三日來の降雨は季節の轉換を知らせる自然の使徒か郊外にはもう早咲きの秋草が我世の秋を謳歌し雨後の空は深かく高い、コスモスは笑つてる初秋のフラッパーだ

秋祭の催しは取止
神事は嚴肅に執り行ふ
九日氏子總代會で決る

新京神社の秋季大祭其他に關する打合せ氏子總代會は九日午後滿鐵新京支社會議室で開催地方課關係者、氏子總代長を始め各氏子總代等出席先づ最初に神社會計取扱內規改正神社神職給與支給の改善につき協議いづれも原案通り可決決定ついで秋季大祭に關し種々打合せ協議の結果本年は時局柄神事は最も嚴肅に執り行ふが御輿の渡御をやめ神殿前に安置して一般に參拜させること、各町內會の山車、藝妓手踊子供樽御輿其他一切の餘興を廢止することに決定して散會した

コマイヌの献納式

榊谷組及大倉土木から新京神社に献納した青銅製コマイヌはこの程見事に竣工したのでこれが献納式は九日午後五時から擧行された、定刻献納者榊谷組、大倉土木代表者、氏子總代、田中民會長、飯沼特別市財務處長等列席新京神社神職の祝詞奏上があつて代表者ならびに參列者順次玉串を奉奠神酒を戴いて解散した

新京の簡易保險契約
一千萬圓を突破
國營引繼前現在成績

滿洲國政府では治外法權撤廢に伴ひ關東遞信局所管の簡易生命保險業務をそのまゝ引繼き、國營事業として十月一日より實施の豫定であるが、五ヶ年後には加入者卅五萬人、保險金額五千萬圓への飛躍が豫想されてゐる、しかして十月の引繼を前にして新京の簡易生命保險も遂に一千萬圓を突破するに至つた

即ち七月末現在新京中央郵便局取扱簡易保險契約口數は成人保險三萬九千九百十一件、保險料四萬六千三百三十八圓二十錢、保險金八百九十八萬三千四百三圓二十錢で、小兒保險は契約口數九千十二件、保險料七千百六十三圓五十錢、保險金百四十六萬七千六百二十八圓九十錢、合計契約口數四萬八千九百二十三件、保險料五萬三千五百一圓七十錢保險金一千四十五萬千卅二圓十錢で前年度七月末現在に比べると合計契約口數八千百三十件、保險料一萬四千百卅九圓七十錢、保險金二百八萬千八十九圓廿錢の激増ぶりである

なほ死亡或は滿期による支拂保險金は成人保險で六百四十九口、八萬八千四百八十四圓小兒保險で五十二口、四千九十六圓合計七百一口、八萬二千五百八十六圓に上り滿洲において簡易保險業務は大連に次ぐ成績である

教育勅語謄本
櫻木、三笠兩校に御下賜

新京櫻木及び三笠小學校には未だ教育勅語謄本の御下賜がなかつたが今回御下賜されたので三笠校は十四日櫻木校は十七日に之が傳達式を行ふ事になつた

軍用犬
四十頭を購入

鐵道總局では警備犬四十頭を滿洲軍用犬協會を通じ購入することになつた、種類はセパード一歳から二歳までなるべく牡を望んでゐる購買希望者は血統書の有無に拘はらず十四日までに軍犬協會新京支部へ申込まれたいと

南關に五人組强盜

九日午前一時ごろ南關警察署管内歡喜嶺丁家窩甲門牌十六號農業趙德清（四十五）方で家人が熟睡中突然表戸を破つて一人は拳銃、他は鐵の棍棒を所持した五人組强盜が侵入物音に目を覺した趙夫婦に拳銃を突きつけて馬二頭を繋留してゐる裏手廐小舍に案內するやう脅迫したが同夫婦が附近の自衛團に救ひを求め大聲で騷ぎ始めたので狼狽し兇器の鐵棒一本を其場に殘し一物も得ず闇にまぎれ逃走した、屆出により所轄南關署では直ちに首都警察廳に連絡すると共に折柄の雨中に必死の捜査陣を張り追及中であるが未だ逮捕に至らない

水泳講習會
吹田文明氏を招じ白菊水泳場で

日本古來の水泳太田流の權威吹田文明氏は滿鐵の招聘で來滿、同社運動會水泳部講師として沿線各地に於て水泳指導にあたつてゐたが、十三日午後四時から新京白菊町滿鐵白菊水泳場に於て『日本遊泳講習會』を開くことになつた會費不要多數來場を歡迎すると

電々型受信機
大賣出し抽籤
市內一等は三、〇九三と七四〇

去る六月十日から七月まで行はれた電々型受信機防空特別大賣出しは五千九台を賣り、非常な好成績を收めたがこれが景品抽籤は十日午前十時から南廣場電々管理局に於て市內各局長警察官、新聞社員それに購買代表者二名立會ひ嚴重に行はれた結果幸福の當選者は左の通り決定した、なほ當選者は市內にあつては本十日より十五日までに電々管理局に於て、地方は來る十五日より二十日までに受信機を購入した電信、電話局にて賞品の引換を受けられたい

市內の分

▲一等（百圓）三、〇九三、七四〇（二名）
▲二等（五十圓）一七七二　一一九四（二名）
▲三等（三十圓）八八　一一三八　一七四八
▲四等（二十圓）三一二二（四名）
一七一〇　四四八　三四八
二六二七　五〇八　一七九
三一六八三　一八〇九
（八名）
▲五等（五圓）
一四四〇　一五六五　五一
〇二一七八　二七九八
一四〇七　二七九　二七〇
五三一五四　一〇〇八
二六七八　五〇九　一四二
五　二〇五三　一九五
五　二二二　八五
二七　一三〇五　六
八九八　三〇七　七七一
（四十名）

地方の部

▲ろ組　一等（五十圓）二二九（計一名）
▲二等（三十圓）一五二（計一名）
▲三等（二十圓）二八三　二五一（計二名）
▲四等（十圓）二二七　一〇三　八〇一　二九〇（計四名）
▲五等（五圓）九〇　三一七　七一二　六二　一一九　二八九　七　六九　九九　二五五　一七　八（計一〇名）

▲は組　一等（五十圓）三五九（計一名）
▲二等（三十圓）四六六（計一名）
▲三等（二十圓）八三三　一三（計二名）
▲四等（十圓）六三　一七九　五六〇　四　三六（計四名）
▲五等（五圓）六四〇　五〇　七一　一七　〇　五五一　六二八　六〇　一　六二　六六五　五九〇（計一〇名）

▲に組　一等（五十圓）六〇八（計一名）
▲二等（三十圓）二三〇（計一名）
▲三等（二十圓）三一六　四六一（計二名）
▲四等（十圓）二四四　一四二　二五〇　六四〇（計四名）
▲五等（五圓）一六二　一〇三　一二七　一五四　二三一　一五九　一六〇　五七〇　一五一　八六（計一〇名）

▲ほ組　一等（五十圓）五九六（計一名）
▲二等（參拾圓）五八八（計一名）
▲三等（二十圓）四六七　四九一（計二名）
▲四等（拾圓）四三五　二八五　五八〇　三三一（計四名）
▲五等（五圓）二九　七五　五八七　四九　一二五　二二　四九八　七　八　三九二　三八六（計一〇名）

榮轉の原大佐
十一日朝赴任

關東軍高級副官より陸軍省新聞班長に榮轉の原守大佐は、十一日午前十時新京發はとで南下赴任の途につく筈（關東軍許可濟）

壁中に彈丸
不氣味な銃器埋藏犯人
遊動班で二名捕縛

首都警察廳市外遊動班古賀巡官以下十一名は犯罪捜査のため岭倫方面に出張中、同地高懷城子門牌十九號農業王詳（三十五）及び同二十七號王振（五十）の兩名が銃器彈丸を所持してゐるとの聞込みを得たので八日午後一時ごろ先づ王詳方を襲ひ溫突地下五寸の所に埋藏せる拳銃一挺彈丸七發を押收續いて王振方を襲ひこれまた裏手土壁中に巧みに塗込んだ小銃三挺彈丸二十五發を押收の上銃砲火藥違反として兩名を逮捕匪賊行爲其他についても目下嚴重取調中である

三回に亙る無錢飲食
逃走中を城內で又留置場へ

本籍宮城縣玉造郡一栗村池月住所不定家喜米吉（三二）は平素は至極眞面目な男であるが酒癖が惡く、これまで三回に亙り無錢飲食として新京署に留置され去月二十四日微罪處分として釋放されたばかりのところ又しても去る五日懷中一圓五十錢を持參して吉野町二丁目白帆飲食店で六圓を飲食不足額はキャピタルで集金の上支拂ふからとつけ馬と一緒に出たが途中つけ馬をまいて逃走姿をくらました屆出でにより新京署で捜査中であつたが八日午後八時頃城內三馬路に潛伏中を日高刑事に逮捕されまた留置場へ逆戻りした

興京縣東方で
柳靖宇匪潰滅

木越部隊の松原、小原の兩部隊は八日午後三時頃興京城東方八軒の東昌臺に柳靖宇の共匪百五十名が來襲金品を掠奪中との報に接し折柄の豪雨を衝いて急遽出動、東昌臺西南方約十二粁の朝陽溝附近に匪團を追及、勇壯果敢なる包圍攻擊を加へ、殆ど匪團を潰滅せしめ多數の兵器を鹵獲したこの戰鬪においてわが方岩井義雄二等兵は名譽の戰死を遂げ負傷三名を出した

慰問袋
五人姉妹から

十日午前中、市內朝日通り廣瀨稚子、廣瀨嘉子、廣瀨博子、廣瀨常子、廣瀨靖子の五人姉妹から慰問袋各一個づゝ本社へ寄托があつた

保安主任を招集
原動機取締規則を說明
一兩日中首都警察廳で

設置個所及びその取扱方法等によつて往々大慘事を惹起する電力原動機について首都警察廳ではさきに原動機取締標準規定を制定して暫行的に管內原動機の取締に當つて來たが、こんど八月六日附を以て治安部より原動機取締規則が正式に公布されいよ〳〵十日より實施の運びとなつたので同廳では一兩日中に管下各署保安主任を召集して之が趣旨並びに各條項について具體的說明を加へ、本規則に據つて管內原動機の積極的取締を勵行せしめることゝなつた

郷軍名譽の爲め
出札ガール連小遣ひの心遣り
驛に描く銃後美談

市內東三條通りホームラン洗濯所外交員野田保氏（二八）は身を在郷軍人の籍にあるもの丶最高の名譽ある目的貫徹のため八日午後急遽郷里名古屋市に向つて出發したが途中天候のため旅行を續けられず再び新京驛まで引返へし京圖線廻りに變更せんとしたが財布の底までたゝいて見たが切符代に一圓不足し驛詰憲兵にその旨申出でた當番の神崎憲兵上等兵は事情を聽いてポケツトマネー一圓を出して切符を求め漸く列車に乘り込むことを得た、この在郷軍人の責任感の强く、財布の底まで返して困つてゐる情況を見た新京驛出札ガールたちは本人が列車に乘つてから申し合せて「あの方は切符は求めても內地までの辨當代も持つてゐない樣だから妾たちの小遣錢を出し合せて送ることにしませう」と吉林驛に電話して金五圓を立かへて本人へ渡して與れと依賴して目的を達した野田君は吉林驛に到着とともに名も知らぬ新京驛員から送られた旅費を受けとつて內地へ向ふことを得た、なほ後でこの話を聽いたホームラン主人の水守正平氏も金三圓を內地へ急送した

二少女から
新京署へ

北支皇軍に寄せる銃後の小國民純情な兒童の献金は日々相踵いでゐるが、十日午前中〻國防献金〻と書いた白襷をかけた二人の少女が新京署警務係に訪れ手にした献金箱を『兵隊さんに上げて下さい』と差出した、中には三十七圓七十七錢の大金で係員を吃驚させたが二人の少女は三笠小學校四年生山本トシ子さん、杉山チエ子さんで去る七日から三日間を吉野町夜店に於て通行人から皇軍慰問金を募集したものであつた

竊取品を捨て
誰何され逃る

新京日本橋通り十六番地日本橋アパート十八號江原久作氏（三〇）は九日午後三時十分頃三笠町二丁目二番地先に於て苦力風の男が身分不相應な衣類多數を所持して通行せる擧動不審の動靜に誰何したところ件の男は矢庭に所持品をその場に遺棄して逃走したので追跡したが姿を見失ひ新京署に事情を述べて遺棄品を屆出でた、右品は浴衣中古品洗濯物六枚、敷布中古品洗濯物二枚、布團カバー一枚、襦袢一枚、白足袋四點であつた、該品竊取された心當りの人は新京署に申出でられたいと

工事場から盜む

鐵暴騰の波に躍つて最近特別市方面建築工事場を舞台に頻々として鐵類專門の竊盜事件があり首都警察廳で犯人嚴探中七日午後一時ごろ南新京安民廣場阿川組工事場を出て來た擧動不審の男を張込み中の范刑事が取調べると果して懷中に鐵線、釘類約百斤を忍ばせてゐた河北省生れ住所不定無職劉東雲（十七）で同人の自白により七日以來三日間に同類六名、贓品販賣二名と芋づる式に検擧したが、その被害は自白したものだけでも重量九百斤時價二百圓に上つてゐる

性は善
囹圄の人にこの熱誠
獄中勞工金を献金
哈爾濱刑務所美談

哈爾濱總領事館刑務所には不幸邪道に顚落した囚人九十餘名が收容され紙細工、洋裁等の勞役に服してゐるが、誨敎師より暴戾支那軍の背信行爲に基き北支事變勃發し皇軍將兵華北に正義の駒を進め奮迅の活動を續けつゝあることを聞き、國家の危急存亡を他所に鐵窓に呻吟しつゝある自分等の不甲斐なさを痛感、讒然として日本精神を呼び戾し悲嘆の淚に暮れてゐたが中にはかつて軍籍に身を置いたものもあり一同自發的に監房係を通じ九日上原檢事事務に對して「獄中で貯めた勞工金の一部を國防費に献金したい」と斡旋方を嘆願した、赤司署長以下幹部はそれでこそ日本國民だ、定められた刑を終へ、一刻も早く眞人間に立ち返れと懇々と訓戒を與へたが、一同感激に咽び薄暗い刑務所に時ならぬ劇的シーンを描き出した

新京青年學校の
第三回射擊大會

新京青年學校では八日に第二回射擊大會を實施したが非常時局に鑑み引續き第三回射擊大會を來る十五日午前八時半から陸軍射擊場で實施し生徒の心身を練り非常時に備へる

曹洞宗大伽藍
建設認可出願

曹洞宗新京別院は豫ねてより大伽藍建設を計畫中であつたが、この程特別市萬寶街八〇一に地所の買收を了したので九日別院主事井上直雄氏外信徒總代十名連署で新京總領事館へ設立認可願を提出した、右工費は庫裡、本堂合せて十三萬圓、昭和十六年十月までに竣成の豫定である

佐々木寫眞館
開業割引撮影

前藤坂寫眞館に十餘年寫眞技師として勤務し優秀なる技術者として好評なりし佐々木康二氏は今般獨立開業すべく東一條通りクロネコ美粧院前に準備中の所室內裝飾も完備したので愈々開業した、尙目下開業記念として割引撮影をしてゐる

佐々木滿鐵理事

滿鐵佐々木理事は十一日午前八時十分着列車で來京一兩日滯京の豫定である

訂正

本紙八月十日附朝刊七面記載グライダー練習きのふ解散とあるは『日滿中等學生の合宿練習を解散』せるものでグライダーの練習は解散したものではない右訂正

あす（十一日）

▲簡閲點呼第八日
▲本紙讀者優待里見義郎出演　新京キネマ

今晩の主なる滿洲放送

▲七・三〇舞台劇（東京）▲八・三〇水十夜「第九夜」（京城）▲八・四〇歌謠曲（大阪）テイチク管絃樂團

"里見"想出の名解説 愈よあす開催

優待割引券を御利用下さい

待望の里見義郎氏の漫談物語と「名畫スーヴニール」は、愈よ明十一日より三日間に亘り新京キネマにおいて華々しく開演するが、無聲映畫全盛時代を偲ぶ得意の名解説をふるふべく里見氏も大いにハリキつており、これにレコードラヂオ放送その他において既に定評ある新作漫談、文藝物語などを錦上更らに花を加へてのお膳立は鎖夏絶好の催しとして大いに期待されるものであらう、本社では既報の如く本催しに對して恒例の愛讀者優待を行ふことゝなり、夕刊三面演藝欄に優待割引券（五十錢を二十錢引き）を刷込んだから御利用をお勵めする尚映畫プロは再度豫定が變更されてユナイト「チヤツプリンの街の灯」に千惠プロ「瞼の母」パラマウント作品、ヨセフ・フオン・スタンバーグ監督、ジヨージ・バンクロフト主演「暗黒街」の三本立で「暗黒街」には里見義郎氏が伴奏入りで名調の解説を添へることゝなつてゐる、【寫眞は得意の漫談を語る里見義郎氏】

里見氏本社來訪

里見義郎氏は九日午後山田禮水氏と同道本社を訪れたが、左の如く語つた

三年振りで參りました、トーキ時代となつてから轉向して漫談、物語、ラヂオレコード等のお蔭で活躍して居ります、今時に無聲映畫などを説明すると物笑ひになるかも知れませんが、或る意味に於て「名畫スーヴニール」は新しい企畫であり、今頃無聲の説明を聞かう觀やうたつて仲々出來ないことです、この催しを古くさいと云ふ人があつたらその人の頭は古いと云はねばなりません

けふからの 帝都キネマ 禁男の家

帝都キネマ十日よりの番組は左の如くワーナー「科學者の道」を封切つてこれにチエツコ、佛SELF作品を配した三本立である

▽チエツコ「春の調べ」グスタフ・マハテイーの異色ある作品で、性格的に相容れない夫を持つ若い妻が、新しい男との間に持つ戀愛交渉を描いたもので、作者の包懷する人生觀（こゝでは主として性の問題）は全部その儘に受け入れることは難しいが、數個所に亘つて示された優れた表現は得難いものだつた、ヘデイ・キースラーの豐滿な肉體も美しいものであつた、アルベルト・モーク、ヤロミール

▽佛セルフ社「禁男の家」ダニエル・ダリユウといふ甘つたれ女優が本當にその本領を知らしめてくれたのはこの映畫であつた、「隊長ブリーバ」の美しいお姫様姿よりもわれ〳〵にはこの方が好ましいと思ふのである、男子禁制の女ばかりのアパートにピチ〳〵した一群の乙女達の生活の姿、又愉しき哉！ジヤツク・ドヴアルの演出は演劇畑から來た人のそれとも思はれぬ柔軟なものを示し、こゝに表はれた寫實的な扱ひは頗味していゝものであつた他にベテイー・ストツクフエルド、ヴアランテース・テツシユ、エーヴ・フランシス、ジヨゼツト・デイ、エルズ・アルガン、ジユニーアストルなど新鮮な顏が並んでゐる

▽ワーナー「科學者の道」別項參照

再映三本立 けふからの 銀座キネマ

銀座キネマ十日よりの番組は新興、フオツクス二番線を配した三本立編成である

▽フオツクス「テムプルの燈台守」シヤリー・テムプルがガイ・キビー、スリム・サムマーヴイル等を相手に演ずる笑ひと涙のものがたり、難船したテムプルと燈台守のお爺さんの微笑しい交情、デヴイツト・バトラーの監督作品

▽新興京都「お七鹿子染」森靜子のお七と久松三津枝子、坂本武、武田春郎、大塚君代、突貫小僧等新古多彩な顏ぶれを配したお笑ひ清水宏の監督作品である

▽松竹大船「海の兄弟」桑野通子、日守新一、南部耕作、吉川滿子主演、佐々木啓祐監督の描く海のメロドラマ、サウンド版である

▽松竹京都「お化け花嫁」小笠原章二郎の岡つ引きシリーズ、澤井三郎、成田光枝、石川冷、花房みどり等小ぢんまりしたところを配したお笑ひ、近藤勝彦の監督作品である

再映週間 けふからの 長春座

長春座十日よりの番組は左の如く松竹二番線三本立に「北支ニユース」を添へた編成である

▽松竹大船「若旦那春爛漫」近衛敏明の若旦那もの、桑野通子、高杉早苗、吉川滿子の吉三郎が綴る悲しい戀物語り、尾上榮五郎、松本泰輔、原聖四郎、櫻井勇助演押本七之輔の監督作品

▽寛プロ「破れ合羽」寛壽郎の股旅もの、森光子、草間房枝、春日清その他一黨の出演、湊邦三の原作による吉田保次の監督作品、サウンド版

▽科學者の道△

▽ワーナー映畫、あらゆる暴壓と支障にも屈せず、又肉親の危機をすら顧りみずして醫師としての使命に邁進した一學徒の悲壯な傳記を綴つたもので、ウイリアム・デイターレの監督になる異色ある力作である、ポール・ムニ主演の他にアニタ・ルイズ、ジヨセフ・シルドクラウト共演、帝都キネマ十日封切

讀者優待券

「名畫スーヴニール」

日時　十一日から三日間

場所　新京キネマ

本券持參者に限り入場料五十錢のところを卅錢引（但大人一人一枚限り階下に限る）

新京日日新聞社

さぼてん

世の中は三日見ぬ間のサクラ哉――いつの間にかダイヤ街の〃サクラ〃は店を閉ぢてゐる、近所には〃春〃とか〃ブランタン〃とかもあるのに何んとした事か▼大同公園近くの或る建物の落成式の時、無慮四十人ほどの女給さんたちが驅り出されてゐたのだが、そのうち名前を書いたマークを胸につけてゐたのは〃赤玉〃のひろ子と椿、はつきり判つて大いによろしい心掛けであつた▼北支の硝煙血に曇つて皇軍の勇敢な活躍が日々傳へられるとき銃後の躍援は實に泪ぐましいものがあるが、アオキダンスアカデミイの青木徹君はこれは又感心に新京神社朝詣でを斷行し、皇軍の武運長久を祈つてゐる▼ダンスと神詣でと如何なる因縁ありやと聞くと右のやうなわけ▼ダンスの正統な社交性を强調して來た同君にして此の心掛けあるは成程と肯かれる次第で、萬々ステツプの亂れる氣遣ひはあるまい

帝キネ、長春座、銀キネ寫眞替り▼帝キネの異色週は再映ものに封切を一本配して今度は質の方から眺めて仲々によろしと言へやう▼長春座、銀キネにはサウンド版が賑やかである、十一日からの新京キネマと相呼應した譯ではあるまいが、このところ懷古の夢や旺んである▼里見義郎の「名畫スーヴニール」は愈よあすから、映畫はパラマウント「暗黒街」に本決り、蓋し往年を偲ぶに相應しいものであらう

雜音

水曜　庚午　赤口　開　參宿　舊八　七月十六日

●一白の人　一切萬事識者に任せて指導を受くれば安全　甲と卯と乙が吉

●二黑の人　放漫なれば諸事逆轉す緊張して事に當れ吉　酉と壬と丑が吉

●三碧の人　一向に取り留めなき事瓣に釘の如し病注意　乙と丁と壬が吉

●四綠の人　兎角氣の揉める日なれど守靜なれば後に吉　甲と丙と丁が吉

●五黃の人　其から其と手を出し却て辛勞を增すべき日　辛と壬と癸が吉

●六白の人　大望を廻さず急功を欲せず着實なれば安全　丁と酉と壬が吉

●七赤の人　自由なる活動を遂げ慾望の滿足を得べき日　辛と子と癸が吉

●八白の人　出船入船湊の輻輳する如し商賣繁昌を極む　庚と辛と壬が吉

●九紫の人　不得手の事に手を出さず人の誘惑を避けよ　甲と巳と申が吉

無水酒精の專賣制 近く實施されん

統制的助成により發展を促進

滿洲國政府では液體燃料の現地調辦の國策に則り、曩に石油專賣制を實施し石油の輸入精製の統制に併行して石炭液化による石油代用品の國內生產助成に努力しつゝあるが、目下の處では非常時局の急需を充し得ざる現狀にあるので近く無水酒精の專賣制を實施し政府の統制的助成のもとに斯業の遠急的發展を促進することゝなつた、しかして滿洲國のアルコール生產高は現在約六千キロトン內外であるが五年後には十萬キロトンまで增產せんとする方針で、近く大同酒精の設備改裝ならび增設を行ふ豫定で、技術は大體高粱を原料とするショーラー法によるものと見られる

甜菜を原料に酒精工業計畫

＝政府は愼重に調査中＝

滿洲における豐富なる石炭資源をもつて石炭液化工業の興隆を見んとする際、更に甜菜を原料としてガソリン代用の酒精工業の確立を期して會社設立の出願が奉天の坂本惠武氏及び三井系の臺灣製糖技師たりし元北海道土地株式會社事務理事取締役菅井博愛氏ならびに神戶川崎系の大村謙太郞氏を發起人總代として產業部に提出された、その計畫の大要は酒精燃料は無水酒精をもつて理想とするも、差當り佛、獨等に盛に行はれてゐる農產物蒸溜所の如く簡單に出來る九十五、六度の酒精を造り、これに會社の有する專賣特許の變性法を施し輕油、エーテル、ベンゾール等を混合して一般の代用ガソリンを製造せんとするもので、政府特別の保護のもとに農民或は移民に對しては政府において半强制的奬勵を行はるゝものとし、一萬町步の植付を斷行、資本總額を一千萬圓（四分一拂込）をもつて創業し初年度より十五萬石を生產し漸次增資を行はんとするものである しかして本事業の目論見によれば農民の前貸金および運轉資金は東拓または滿拓公社より融通を受けるものとし、製品は政府指定の變性燃料となし相當價格をもつて政府に全部買上げらるゝか、或は自由販賣の認可を得るものとしてゐる、しかして本會社の甜菜買收價格は千斤二圓と定められその他必要なる援助は國策事業としての立場より當局および關係機關の積極的保護を要望してゐるが、現在滿洲製糖の甜菜買收價格は千斤五圓五十錢であり、從つて移民事業として果して農民收支の上に妥當なりや否やは遂に斷定し得ず、政府は目下事業採算的見地より愼重なる調査を進めつゝある

米日爲替續騰

【東京國通】休日中入電は米英クロス四弗九十九仙四分一と四分三仙方續騰し、昨年九月以來の高値を報じ米日また二十九弗一仙と三仙方の續騰

新京輸入組合 七月分成績

一、貸付及回收
本月中貸付額　金一四九、三四三、〇〇　一二八件
回收額　金一六五、一〇九、〇〇　一一七件
本日殘高　金三四三、五七七、〇〇　三三一件

二、仕入先
1現地　金二一七、一四八、〇〇
2內地　金三二、一九四、〇〇
3合計　金二四九、三四三、〇〇

三、組合員及持口數
興業銀行日本橋通支店扱七月末現在組合員一三三名
普通出資口數　三、四三七口
特別出資口數　一、三三三口
計　四、七七〇口

四、出資拂込額
七月末現在普通出資拂込額　金一七一、八五〇、〇〇
同　特別出資拂込額　金六三、九六六、三〇

五、購買傳票
本月中取扱高　金一〇、八九二、四〇
取扱店數　九一　使用個所　七〇個所　使用人員　八五六名

六、商品劵取扱高
本月中取扱高　金一、〇四〇、〇〇

縣農事合作社の施設と助成法

滿洲國產業部で計畫中の縣農事合作社の施設內容及びその助成方法等は次の如く決定を見た

▲一、役職員

一、國庫助成を以て配置する役職員は專務董事、技術員及檢查員とす但し專務董事は一律に本部にて養成せる者を以て充て技術員は既に入縣せる農會技術員中本部の訓練又は推薦を經たる者又は今回新に本部にて養成したる者を以て充て檢査員は一律に本部に於て養成したる者を以て充つ

二、國庫助成役職員の俸律は別に定むる所に依り豫算の範圍內に之を支給す（賞與及若干の僻地手當を含む）

▲二、農業倉庫

一、建設樣式
本年度の倉庫施設に關しては別紙の如き建築樣式を參考の上概ね左の要領に依り之が建築に當る事
イ、大豆は小麥を主要保管穀物とし且之を鐵路にて搬出する地方に於ては角泥倉庫（又は木骨トタン張倉庫）及屯子の施設をなす
ロ、北滿地方の中江運にて穀類を搬出する地方は少くとも開江期迄保管を要するを以て特に固定倉庫に付厚壁の角泥倉庫を設備す

二、規模
イ、固定倉庫一縣單位は收容力一千噸、新設費は單價一萬圓二〇間房子（四〇〇圓掛）敷地四〇〇坪（五〇圓掛）を標準とす
右設備費の半額は國庫補助に依り殘半額は借入金に依る
若し木骨トタン張樣式とせば米坪二五圓を要す見込
ロ、屯子は一屯收容力三車（九〇噸）、新設費一八〇圓（敷地購入費を含む）一單位七屯を標準とし經費は全額政府補助とす
以上の單位標準は省內各縣の農產物出廻狀況及其他の經濟狀況に應じ適宜變更する事を得るものとし特に出廻經路に應じ中心地に數縣共同の倉庫設備をなし得るものとす

三、設置個所
鐵道船舶の積卸に便なる地點を選び且つ交易場と連絡せしむる事を原則とす

▲三、農產物交易場（以下追加豫算の分）

一、農產物交易場は一單位一八〇〇圓とし土地購入費一〇〇〇圓（四晌・二五〇圓）其の他の設備費八〇〇圓を標準とす

二、右交易場は出廻の經路により一縣內に數ケ所に分類し又は數縣共同の下に各單位を合併し共同に設置する事を得るものとす

▲四、穀物精選施設

一、本年度は小麥及大豆に對し精選施設をなすものとし精選機具は人力用及動力用とし前者は合作社より實行合作社又は部落單位に合作員に對し貸付使用せしめ、後者は主として合作社の交易場倉庫等に設備する他中心部落毎に之を配置し附近の實行合作社又は部落單位に合作員に對し使用せしむるものとす

二、本施設に要する農機具は大部分を本部に於て調製し配付助成するものとす

三、本施設に要する經費は半額を國庫助成とし殘半額を借入金に依るものとす

▲五、指導費及事務費

一、省に於て各縣合作社の設立指導、宣傳、講習、會議監査等に要する經費及縣に於て縣合作社の設立趣旨の徹底、中心人物の訓練講習等に要する經費若干に付國庫補助を考慮す

二、縣合作社の事務費若干に付國庫補助を考慮す

北支事變の勃發と わが軍需工業

發展の速度に拍車加へん

戰爭ともなれば絕對樂觀といふのが定石だが、事件そのものゝ見透しがつかず、影響も間接的になるので、今のところハツキリしたことは云へない、局部的紛爭に止まれば、直接的影響は輕微であらう、尤も、今日既に敏感に相場に響くひゞき乃至は今後直ちに響くであらうと云ふ材料も立てられるものもある、例へば、鐵鋼、鉛、錫等の重工業品、海運乃至は石炭等であらう、鐵鋼は事變勃發によつて一割が、鉛は一割五分、錫は一割九分を昂騰した

海運方面は未だ運賃暴騰となつて居ないが、今後相當量の船舶が御用船として引上げられることは必定であるから、影響を受けずには居まい、六月中旬近海方面の配船噸數は二百萬噸あるが、例へば此の一割が引上げられたと假定すれば、運賃は可成りの上昇を免れないであらう、御用船の備船料は大した犧牲を拂ふわけでもあるまいから、運賃の昂騰だけ海運業を潤ほすことになる

石炭は需要方面がどうなるかは先の問題として、輸入自體が阻止されることは免れぬ、滿洲國から百八萬噸、中華民國から五十四萬噸、佛領印度から三十六萬噸となつてゐるが、これ等が取敢へず這入つて來なくなる危險がある、輸入量としては、全國送炭高の一割餘で、割合から見ると大したことはないが、右の輸入炭の內、撫順炭以外は原料炭であつた、內地では此種石炭の產出が尠いから相當困ることになる、原料炭の對外依存度はおそらく二割以上に上らう、これが來なくなれば北海道、樺太炭で補給せねばならず、これから來る炭價の昂騰は免れないであらう、この種の石炭業はそれだけ惠まれることになる

以上は今回の北支事變が單に局部的に解決されると見て、その直接影響を考へたまでゞある、不幸にして、事變がもつと擴大して全面的な戰爭となれば、前に書いた定石は、その儘實行されると見てよいわけだ、鐵鋼、機械、造船、海運、石炭、石油、非鐵金屬何一つとして超利潤に惠まれぬものはなからう、殊に原料に近いものを作るほど良い、事變勃發と聞いて、株式市場は恐慌狀態を來したにも拘らず、此種株式が超然としてゐるのは、これを實證して餘りある、が、全面的戰爭のあつた場合如何は、尙は研究の餘地のあることで事件そのものゝ性質から云つても時期尙早であるから茲では取上げないが次のことは斯くとも云へるであらう、即ち、今次の事變が局部的衝突に終つたとしても、日本の準戰時體制は後退することなく、益々前進するであらうと、この場合、重工業は更に一段の發展を保證されることになる、今次の事變に當つて特に痛感されるのは船舶の不足、その他戰爭資財の不充分なことであると言はれる、こんなことから思ひおこせば、重工業發展の速度が拍車づけられることは、正に不可避的である

全滿農作物收穫高 第一回豫想概觀

昭和十二年度全滿農作物收穫第一回豫想（七月一日現在調査）は五日全滿一齊に發表されたが、品別に見れば前年に比して蘇子の如き環境の特殊事情により作付反別減少し、從つて收穫豫想も減じたものはあつたが、總括的に通觀すれば南北滿とも反別收穫双方に於て增加を示してをり、平年作に比すれば水、陸稻その他雜穀、蘇子が不良を豫想されるが、他は孰れも極めて僅少乍ら增加し殊に北滿に於ける作況は概して良好であつたのと、勞働力が豐富になつたために南滿に比し幾分優位に置かれてゐる、陌當收量を檢討するに小麥、麻實、蘇子等は著しく不良で大豆、粟、陸稻は先づ順調、高粱、包米、水稻類は頗る良好を示してゐるが、この豫想を得るに至つた原因は、勿論播種期に天候の適順なりしか否かに依り又その後の天候の旱濕により、虫害の有無によるものであり品種によりその被害の程度も差が認められる、しかして發表數字につき大連特產業者の意見を聽くに大體業者の豫想せる數字に近くこの程度であれば相場に影響するところは尠ないであらうといふに一致してゐるが、地場消費高、輸出可能量については左の如き計算となるものと語つた

輸出品の大宗たる大豆の收穫高は前年推定實收が百十四萬四千噸か妥當であり、十二年度收穫豫想高四百四十九萬二千噸は市中における四百七十萬噸見當（一割二分乃至一割四分增收を見込み）よりすれば二十萬噸の食違ひで八%增となつてゐるがこの位の相違は第一回發表にあつては問題とする足らぬ、輸出可能量は地場消費を百二十萬噸と踏めば（滿鐵產業部農林課出廻係では豫想發表後業者の質問に應へて地場消費を南滿七十萬噸、北滿四十五萬噸、計百十五萬噸見當を妥當と認むる旨言明、南北滿地場消費量は各地の人口の稠密度、家畜數の多寡により判斷した結果得たものである、十一年度は高粱の不作により大豆の食糧、飼料に充てられた數量が多く、例年よりも一割餘も增加したものであるが、又南滿地方では從來地場消費を過少に見積る傾きがあり、これを正當に近き數字に引戾したゝめ急增したのであると調査當局は言つてゐる、これに對しては當業者はほゞその正しいことを容認してゐるが一部には可及的正確な地場消費量を得るため當局の研究を促したいとの意見があつた）（岐路に外れたが問題の本筋に歸つて）收穫豫想より地場消費を差引いた三百三十四萬キロトンが移輸出可能數量となるわけで十一年產品は八月以降の輸出量の增減にも左右されるが大約十萬キロトン乃至十五萬キロトン、若くは二十萬キロトン乃至廿五萬キロトンの次年度の持越を加へて三百六十萬キロトン見當が最高限度の十二年度輸出餘力と見積られ十一年度の輸出可能高と比すれば十二年度のそれは一割方多くなつてゐる、輸出餘力の增大は相場の低落を招くことを考へさせられるが、一割程度のものではその心配も不必要であらう、何となれば日本內地では油脂工業の發展に伴ひ需要が活潑になることは必然であり、相場が安くなれば歐洲方面への輸出も旺盛となることは明かであり、相場の下落は數量でこなすことが出來るから生產、輸出、消費三者とも喪ふところ少く、利するところ多き結果となる寧ろ五萬噸の生產、四百萬キロトンの供給力あることが滿洲大豆の海外市場における位置を確保するために必要といつてもよく、かくてこそ他の油脂原料並に米國、ブルガリア、ルーマニア等諸外國產大豆との競爭に打勝てるであらう

なほ第二回發表は九月一日現在により調査、十月二、三日頃發表ある筈

奉天商工銀行 附屬地に支行

奉天商工銀行では附屬地商工業者の金融の便を圖るため、附屬地に支行を設置することに決定、關東局よりの認可をまつて大體十日頃までに業務を開始することゝなつた

商況欄（八月十日前場）

海外經濟電報

倫敦金塊　六磅一九志四片〇〇
紐育金塊　三五弗〇〇〇〇
同銀塊　一休會
倫敦銀塊　二〇片〇〇〇
同先限　二〇片〇〇〇
孟買銀塊　五一留比八分七
スチール株　一一九弗四分三
アナゴンダ株　二六弗八分七

▲市俄古小麥
九月限　一弗一〇仙二分一
十二月限　一弗一一仙四分一
一月限　一弗一二仙八分七

▲紐育棉花
現物　一〇仙八二
十月限　一〇仙四二
十二月限　一〇仙三七
一月限　一〇仙四一
三月限　一〇仙五〇
五月限　一〇仙五三
七月限　一〇仙五六

▲印棉
ブローチ　二〇九留比
オームラ　一九三留比
ペンゴール　一五六留比

▲カルカッタ麻袋
當筋　二四留比六分一五
鐵筋　二二留比八分三
英米爲替　四弗九九仙二
日米爲替　二九弗一六仙
米支爲替　二九弗六五仙
日英爲替　一志二片五分
英支爲替　一志二片三分九

各地株式市況

▲滿洲中銀爲替
日印爲替　七七留比二分一
上海向　九八弗
天津向　九八弗
紐育向　二九弗
倫敦向　一志二片

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	一三三、九〇	一三四、一〇
日產	六九、三〇	六八、八〇
鐘紡	二四四、〇〇	—
滿鐵	六四、五〇	六四、九〇
大新	七一、〇〇	七一、九〇

▲大阪株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	一三二、八〇	一三二、三〇
鐘紡	二四一、五〇	[illegible]
日產	六八、一〇	[illegible]
日魯	六九、〇〇	六九、四〇
大新	七〇、三〇	七〇、九〇

▲大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	一九、〇〇	—
豆新	二三、七〇	—
東新	四五、三〇	—
滿鐵	四三、三〇	—
同新	六九、三〇	—
日產	二三、五〇	—
鐘新	四五、五〇	—
日新	[illegible]	—

▲奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
滿取	一〇、八〇	—
東新	一三三、八〇	—
大新	七〇、一〇	—
日產	六八、三〇	—
五品	—	—
豆新	—	—
北炭	六〇、五〇	—
日魯	二五、〇〇	—
新鄭	二三、五〇	—
鐘毛	二三、〇〇	—
滿光	一三、五〇	—
優鐵	一四、五〇	—
局新	四三、五〇	—
電甲	—	—
同乙	—	—
東拓	—	—
瓦斯	—	—
電業	—	—
化學	—	—

各地商品市況

▲大阪綿糸（寄付・大引）
八月限　二〇八、五〇
九月限　二〇八、〇〇
十月限　二〇七、五〇
十一月限　二〇八、五〇
十二月限　二〇八、九〇
一月限　二〇八、四〇
二月限　二〇九、五〇

▲大阪棉花
十月限　二〇七、五〇
十一月限　二〇八、五〇
十二月限　二〇八、九〇
一月限　二〇八、四〇
二月限　二〇九、五〇
當限　六三、三〇
先限　六五、七〇

▲大阪人絹
當限　六〇、〇〇
先限　六二、九〇

各地特產市況

▲新京（一石値段）
現物　大豆　—　高粱　—　小豆　—　玉蜀黍　—
先物 ●大豆　八月限　六、〇五　九月限　—　十月限　六、〇〇
●高粱　九月限　—　十月限　—

▲大連
●大豆　袋入　八月限　七、〇五　九月限　七、一〇　十月限　六、八六　十一月限　六、八六　十二月限　六、九六　三月限　六、九六
●豆粕　現物　三、八〇　八月限　—　九月限　三、八〇　十月限　—
●豆油　現物　—　八月限　—　九月限　一〇、一〇

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通（一行）壹圓五拾錢 特別（一行）貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三二〇
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越內之介

上海支那軍の戰備益々强化
戰端の開始不可避か
徹底的膺懲の處置要望さる

【上海十日發國通】大山事件で双方共に九日夜は異常な緊張を呈し今にも兩軍の衝突を惹起するかの如き不安に捲はれてゐたが、陸戰隊の人心刺戟を避けた愼重鎭靜の態度に十日朝來漸く愁眉を開き財界は比較的平穩に特にこの事件による影響とみらるべきものは輕微である、しかし上海をとりまく支那軍の防備益々强化と北支の風雲を孕んだ悪氣流に襲はれ遲かれ早かれ上海にて戰端の開始されることは今や免れ難しとの懸念は財界一般に相當有力化しつゝあり、本週中にはこゝまで悪化した限り姑息なる手段は却つて今後に禍根を殘すから將來の建設發展のためにはこの際徹底的膺懲を加へ支那朝野の對日認識を根本的に是正せしめ、一時の犧牲を忍ぶも斷乎たる處置を要望する空氣が醞釀されつゝある

悪氣流に包まれた上海

事件を殊更擴大の意圖
支那側態度あくまで挑戰的

【上海十日發國通】大山中尉射殺事件突發により上海の形勢は俄然緊迫して來たが、支那側は同事件を殊更擴大させる意圖をもつてゐることは次の挑戰的な諸點をもつて見ても明かである

一、北停車場に集結しつゝある支那避難民を危險區域なりとして驅逐してゐる

一、事件現場附近に土嚢を構築し保安隊および手榴彈を有する警察官を救援待機させてゐる

一、バスを集結して戰鬪擴大の場合の兵力集中輸送に備へてゐる

我方檢案書を支那側認承

【上海十日發國通】十日午後二時陸戰隊發表＝大山中尉、齋藤一等水兵の死體に關するわが方の檢案書は十日午前十一時半（日本時間）市政府張秘書官、市政府囑託孫醫師は全部承認正式調印せり

鬼畜にひとしき
支那兵の殘虐行爲

【上海十日發國通】上海陸戰隊發表＝大山中尉は全身に凡そ十八ケ所の銃創、刀創を蒙つてゐるが、第一發の右腰盲貫銃創によつて車中に俯伏せになつたところ銃の臺尻で胸頭部を亂打され車外に引ずり出され死體を仰向けにして刀で頭部を突刺し臟腑露出して心臟部にこぶし大の穴を開ける等鬼畜と雖もなし能はざるの暴行をなし、同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シース等をもぎ取り、また齋藤一等水兵は喉頭部に貫通銃創の致命傷を受けて即死せるを車外に引ずり出し顔面右頭部にかけ銃の臺尻で毆打、更に左右腰部に盲貫銃創を加へ犯行をくらますため死體をクリークで洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪された保安隊使用の彈丸はダムダム彈といはれてゐる

頭蓋骨は裂破られて
腦髓附近に飛散
眼を蔽ふ虐殺の跡！

【上海十日發國通】大山中尉齋藤水兵射殺の現場は虹橋路の終點虹橋飛行場の正門より右に折れるエキステンションのモニユメント路上飛行場北方百米の地點で、左側に飛行場の鐵柵が續き右側は畑を距てゝ保安隊の塹壕が見え隠れに續いてゐる物淒い個所である、支那側市政府張秘書、陳警察司長、朱保安隊主任參謀等に導かれわが方の死體引取實地檢證隊は一時四十分現場に到着、暗夜路上を懷中電燈を照しつゝ檢視を開始した、兩名を乘せた自動車は豆畑の中に半分頭をつゝこみ拳銃や手榴彈で蜂の巣のやうに變り運轉せる齋藤一等水兵のものらしい生々しい血痕が運轉臺の坐席を塗り、血糊の中に乳白色の腦漿が流れ眼を蔽はしめ悲慘な情景を呈してゐる、車の傍にうつ臥せに倒れた制服の大山中尉は頭顔面といはず身體にも數箇所の射撃を受け打ち倒れた處を車外に引ずりおろし更に銃劍で胸部を始めところ嫌はず突刺したり靑龍刀で斬つたらしく頭蓋骨は眞二つに破れ腦髓が附近に飛散、懷中電燈に照し出されたこの殘虐な光景に一同眼をそむけた、更に東六百メートルの豆畑の眞中には齋藤水兵の死體が仰向けのまゝ投げ出され致命傷と見られる後頭部より前頭部にかけて貫通銃創の區別さへつかぬ程につぶされ眼球飛出し胸腹部には鬼畜の暴戾を思はせ無殘な銃創のあとが臟腑をえぐり出してゐる兩名とも靴は奪はれポケットの中には一物をも止めず、支那兵のあくなき殘忍さを示してゐる、兩名は現場附近にさしかゝつた際三方より一齊に攻擊され、後方から打出された小銃彈に齋藤水兵は頭部に貫通銃創を受けた、其はずみで車が豆畑にすべり込んだところを滅茶苦茶にされたものらしくこの悪鬼の如き支那保安隊殘虐の跡は同四時廿分漸く詳細に檢證を終り、兩名の死體は戰友の手により救護自動車で保安隊監視の中を陸戰隊に送られた

應戰の遑なし
陸戰隊本部の調査

【上海十日發國通】陸戰隊本部で調査の結果

一、大山中尉は當日外出に當りピストルを携帶しをらず（ピストルは本部內の同中尉所持品內に發見された）その他の武器も有しをらず實地檢證によつても明かな如く運轉手臺の齋藤一等水兵は後頭部よりの貫通銃創で即死しをり應戰のいとまなかつた筈

等の事實判明、日本側の射擊により支那兵一名射殺といふのは全く支那側が故意に事實をまげたものなることが明白である

大山中尉實兄談

【甘木國通】上海で不法な支那兵のため射殺された大山中尉の郷里福岡縣朝倉郡安川村下渕の自宅を訪ふと實兄大山半平氏もさすがに武人の兄らしく語る

勇夫も皇國のため立派な最期をとげたのですから何等心殘りはありません、「上海は排日で面倒な所だから何時でも自分は緊張してゐる」と元氣な手紙を寄越したのが最後です、たゞ勇夫とすれば武器をとつて華々しく奮戰したかつたでせう國のために捧げる子供はまだいくらでもあとに控へてゐます

齋藤一等水兵の實父語る

【福井國通】上海保安隊のため殺害された上海陸戰隊一等水兵齋藤要藏氏の實家福井縣丹生郡志津村本折を訪へば、實父玉吉さん（五四）母はつさん（五三）弟久君（一八）の三人暮しで驚いて語る

要藏は一昨年八月一度歸郷したきり最近は去る七月十三日「上海はとても物騷で毎日警備についてゐる」といふ便りを寄越したのが最後です、要藏は東京で永年働いてゐました、萬一のことがあつたとしても御國のためなら喜ばしいことです要藏には弟もあり「あとの事は心配するな」とかねがね傳へてゐました

遞信省人事異動

【東京國通】十日發令された遞信省人事異動で上海駐在山戸利生氏は貯金局國際業務課長を命ぜられ、遞信省事務官磯野直孝氏は上海駐在中華民國大使館附を命ぜられた

山本、花輪兩氏東上

山本大使館一等書記官及び花輪司法領事の兩氏は外務省と事務打合せのため十日午後二時十分發あじあで奉天經由東上した

赤軍將校二百名
共產軍指導のため入支

【天津十日發國通】察哈爾方面からの一歸來者談によれば支那共產軍の指導及び黨の組織化のため約二百名の赤軍將校がソ聯政府より派遣され、一方共產黨靑年約百名を察哈爾省に派遣中である

閣僚會議

【東京國通】十日の閣僚會議は午前十時四十分開會、まづ米內海相より九日上海における大山中尉、齋藤水兵射殺事件について詳細なる報告あり同事件は頗る重大な問題で海軍當局として愼重な態度を持し事件の眞相を取り調べ、情勢の推移を見た上で善處せん旨の堅き決意述べ、陸相より北支方面の一般狀況を報告、各閣僚も異議なく陸、海兩相の方針を支持鞭韃、わが既定方針遂行に邁進せんことを申合せた

星野總務長官 結城總裁訪問

【東京國通】星野總務長官は十日午後三時日銀に結城總裁を訪問、最近の滿洲における一般情勢を說明し懇談卅分にして辭去した

我帝國最大の侮辱
非は全く支那側にあり

【東京國通】上海の大山中尉齋藤水兵射殺事件は十日正式に日支共同調査が開始されたが、事件は事實の示す如く支那保安隊の不法攻擊に發生せるもので、非は斷じて支那側にある事は明確であり、しかも何等敵意を持たぬわが大山中尉が制服を着用し拳銃も所持せず、白晝公然と自動車で國際法上許される道路を通行せるものを不法にも支那保安隊が小銃、機關銃、手榴彈等をもつて攻擊し、自動車運轉員齋藤水兵もろともこれを慘殺せる事實は國際法上は勿論人道上斷じて許すべからざる鬼畜の慘行であり、われに對する積極的挑戰行爲であるとゝもに帝國の威信と名譽に對する最大の侮辱である、今事件の勃發現場たるエキステンション路の國際法的性質ならびに制服軍人に國際法上附與されたる不可侵權を糺明することによつて支那側の不法無殘なることがさらに一層明瞭となる、すなはち

一、發生場所たるエキステンション路は上海租界土地章程の規定に基き租界の接續地又は租界外に公共用の目的をもつて構築せられたる道路にして從來租界と同樣の取扱ひをうけた內外人の自由に通行し得べきもので支那側の保安隊そのほか官憲軍隊が外國人の通行を禁止若くは制限し又は妨害する等の權利を有せざるものである

一、制服を着用し公務を執行中の軍隊軍人は一國の威信と名譽を代表し居るものにして外國においては不可侵權を有するのみならずこれに對する砲擊の如きは當該國に對する最大の侮辱である

事件の性質に鑑み
愼重態度を持す
海軍省副官談發表

【東京國通】海軍では大山中尉射殺事件に關し十日午前十一時副官談の形式をもつて左の如く發表した

其後の報告によれば、大山中尉は西部派遣隊長として上海西部にある邦人經營紡績會社其他諸在留邦人の警衛に任じ、九日午後五時頃正規の軍裝にて齋藤水兵操縱の陸戰隊自動車に乘じ水月倶樂部（內外綿倶樂部）を出發し附近視察の上陸戰隊本部に連絡に向ひたる途上午後六時半頃エキステンションたるモニユメント路上に於て不法極まる支那側保安隊の包圍襲擊を蒙りたるものであつてわが方としては事件の性質に鑑み嚴重且つ愼重なる態度を持し直ちに支那側に對し實地檢證を要求せるも支那側は言を左右にして時間の遷延を圖り、僅かに死體引取りに同意せるに過ぎず十日朝に至り漸く檢證に同意せる狀況にして事態の進展は容易に豫測を許されない

上海支那街一帶 夜十一時以後の通行禁止

【上海十日發國通】淞滬警備司令部に北支事變以來支那街一帶に戒嚴令を施行してゐたが、九日のモニユメント路事件發生後は特別市に戒嚴令を布き上海支那街一帶は夜十一時限り一般の通行を禁止する旨今朝通告を發した

古川局長來京

チチハル鐵路局長古川達四郎氏は十日午後八時着列車で來京向陽ホテルに投宿した

宋哲元氏 河間に逃避

【天津十四日發國通】第二十九軍長の職を退き下野した宋哲元氏は河間（保定東方七十粁）に逃避した

遺骸陸戰隊 病院に到着

【上海十日發國通】大山中尉齋藤水兵の遺骸引取りのため十日午前零時廿分海軍陸戰隊側より山內陸戰隊參謀、沖野武官、重村大尉、有馬軍醫と總領事館より服部副領事、倉井書記生が現場に向つたが、支那兵の加へた殘虐さは眼を蔽はしむるものあり一同悲憤の涙にくれつゝ午前五時四十五分十二時間も放置された遺骸は現場より陸戰隊病院に到着病院の一室に安置された

逃亡兵續出 高桂滋兩師に

【天津十日發國通】第八十四師長高桂滋氏はこの程蔣介石氏より第十七軍長に任命され併せて第八十四師および第四師を指揮すると共に蔣介石氏より數回にわたり日本軍攻擊の命令を受けてゐるが、部下將兵は日本軍の實力を傳聞逃亡するもの續出の有樣で、同軍の攻勢は全く至難となつてゐる、第八十四、第四兩師は目下左の方面に進駐してゐる

第四師　懷來、砂城
第八十四師　靑羅口、龍門口、赤城、龍關、東山廟

人事往來

▲小野太一郎氏（大阪市吏員）十日來京帝都ホテル
▲柿坂又次郎氏（機械商）同
▲白石竹市氏（滿鐵參事）同
▲藤澤政隆氏（商業）同向陽ホテル
▲犬塚善吉氏（官吏）同
▲田中安太郎氏（建築業）同
▲浦江鑑正氏（電業鞍山支店長）同
▲平山湯邦氏（會社員）同
▲丸山承太郎氏（撫順セメント）同
▲重信武朗氏（日滿商事）同中央ホテル
▲田邊久理氏（會社員）同
▲田中章三氏（同）同

偶語

我が膺懲の聖火にもろくも敗退した支那軍は迷夢さらに覺醒の兆なく全國軍首腦部を網羅して國防會議を開き▼遂に全面的抗日方針と長期作戰方略を決定中央軍は梅津・何應欽協定を蹂躪して▼津浦、平漢兩線沿線に續々機械科部隊を集結中であるが更に察哈爾熱河省境方面に約七萬の兵を集中して國境地帶を脅やかさんとしてゐる▼かくの如きは支那側が局地に於る諸協定を無視し土肥原・秦德純協定をも蹂躪するものである▼更に又事件發生以來自己の非を覆ひ奇怪にも着々戰備を整へてゐた上海の支那側は▼エキステンションたるモニユーメント路上に於て職務執行中の我が上海特別陸戰隊附大山中尉、齋藤一等水兵を小銃機關銃をもつて慘殺した事件が勃發した▼本事件は國際公法上からも人道上からも斷じて許し難き重大侮辱でなくて何であらうかく列擧せる支那側の重なる暴戾に對しても▼堂々國際正義に立脚せる我が方ではあるが最早や事件不擴大局地解決の方針を棄てねばなるまい▼それが東亞永遠の禍根をセン除する爲めとあらば又止むを得ないであらう

社說 南京政府の無反省

一

蘆溝橋事件の發生より既に一ヶ月以上を經た。この間、支那國民政府當局者は、今日の事態を招來したことについて反省する代りに、愈よ長期抵抗の方法をとつて日本に對抗しやうと努め來つた。最近の報道は、上海方面の空氣がますます緊迫を加へ、市政府を中心とする江灣、閘北方面一帶には盛んに土嚢、塹壕を構築し、保安隊中に武裝正規兵が混入し來り大いに抗日氣勢をあげてゐる旨を報じたのであつたが、果然九日夕刻にはわが陸戰隊將校が共同租界越界路上で保安隊に射殺されるといふ事件が生ずるに至つた。斯くの如き不法侮日行爲が上海の共同租界に於いて生ずるに至つては、事態がますます險惡化したことは蔽ふべくもない。かかる不法に對する追究は、今日の情勢のもとに於いて最も徹底的に強硬になされる要があるであらう。

二

昨年來、支那の各地に於いて一々數へあげる煩に耐へないほどの頻繁さで繰り返して起された侮日行爲の根源に對して、今日の事態は痛烈なメスを加へんとしてゐるものであることを國民政府當局者は速かに理解すべきである。もはや局地的な解決ではどうにもならなくなつてゐるのである。蘆溝橋事件勃發以來、日本は東亞の平和のために事件の不擴大、平和的處理に努めて來た。しかし南京政府は、日本がかれに對して挑戰的言動を停止し現地解決を妨害しないやう注意を喚起したのにも拘はらず、わが主張を無視し、現實の事態を容れず、却つてますます戰備を整へ愈よ不安を增大せしむるに至つたのであつた。この間日本は幾多貴い犧牲者が續出したのも忍び、諸權益並びに在留邦人の引揚げをも忍び來つたのである。日本の出方が弱ければ弱いほどますます犧牲は增大し事態は惡化すること當然であるとされる實狀は、一切の禍根を除くための方策が那邊に存するかを示唆して居ると考へられる。

三

近時、南京の北支に對する政策は俄かに積極化してゐたそれは、支那が日本の既得の狀態に對してこれを打破しやうとする態度に出で、日本はむしろ現狀維持的な態度を取つてゐたと言へるのである。青島附近に於ける稅警團の不法行爲、天津農園の襲擊事件宋哲元の逃避など、連續的に起つた諸事件は、恰かも滿洲事變前のそれに彷彿たるものがあつた。北支那を日、滿、支三國の緩衝地帶として、理想鄕たらしめやうとした日本の意圖は、南京政府によつて明らさまに裏切られ來つたのである。事變はいかに進むか今度に於いてもひとへに南京の出方如何によることは變りがない。

國際思潮(2) 增長慢の支那を戒しむ

コロンビヤ大學教授 極東評論家 ナサニエル・ペツフア

支那人は、今尚その始末に苦しんでゐるにも拘らず、前車の轍を履んだのである。かれらはその過誤に氣附かないのか、或は忘れてしまつたのか、明かに再度同じ謬ちを犯かさうとしてゐる。一九二四年より同二八年に至る時期は、ピッチこそ低く抑制されてゐたが、今日とよく似てゐた。それは國家恢復の時期であつた。無爲な默從の數十年の後、支那は國家主義と國家恢復の出發點に立つたようである。支那といふものは、凡そ泰西の理解外にある。泰西諸國は吃驚した。從來攻擊的に支那をあしらふ準備がなかつたばかりではなく、植民地問題は餘りにも世界戰爭の前夜を思はしめたのだ。支那は無敵砲に國土と權利と自信とを恢復しようとした。しかも其「自信」については、不幸にも。あまりに恢復しすぎた。

支那は自己に醉ひはじめた。支那は自己力量の證左を認めたが、その反面に支那が打負したのは、致命的な場合に至らなければ權益防禦し得ない遠隔の西洋諸國にすぎなかつたといふ特殊な事實を見のがした。かくて支那は、もつと近いところに、權益を防ぐことのできる強國が存在し、從つてこれに對しては平和親善的にせねばならぬといふことを忘却した。支那はソ聯や日本に對しても、丁度泰西諸國に對してなしたと同じ手段をとつた。東支鐵道を占領した。忽ち平衡が破れた。赤軍は在滿の支那軍にしたゝか痛擊を加へて、鐵道を取り返した。支那の熱情は弱められたが、吹き消されはしなかつた。かくて南滿洲を日本から奪回するといふ大膽な宣言を執拗に繰返し、支那が適時回收の可能性を有すと假定して、はじめてうなづけるやうな行爲を頻々と反覆した。

三

支那がこれを欲してゐたといふことは、別に非難するには當らない。洵に氣の毒ながら、もしかれらが忍耐に忍耐を重ねて、平和な方法を用ひるに止つたとしたら、日支双方滿足するに至つたかも知れない。山東省から出かける大量の漢人移民は、日本軍が駐屯してゐるにも拘らず、事實上滿洲に平和生活を營みつゝあつたのだ。銀行や工場やその他の商企業を設立することによつて、同地の經濟生活に同化しつゝあつたのだ。全くこの事實か、峻烈な支那側のせりふ同樣、日本を惱ましたことは明かであるが、しかもこれが相互平和裡に行はれてゐる限り先づ問題はないのである。支那人は公然と反抗したり脅かしたり、或は豫め勝利を匂はしたり、仕事の完成は時の問題にすぎぬかのやうに思ひ上つて振舞はねばよかつたのだ。

日本は、攻擊は最良の防禦であるといふ原則に則つて行動した。かれらは一九三一年九月十八日回答を與へた。その結果は滿洲國、冀察政務委員會の出現となつた。日本の行動には毀譽褒貶があるにせよ、事實、これを招いたものは支那であるかれらが日本に挑戰したのだ。余は、よし間接的方法によるものであつても、日本が南滿洲喪失を默々受諾したであらう、といふのではない。併しながら働いてゐる力がそれ自ら徐々に發展作用して自ら努力を集め得たならば。日本としてもこれを喜んで指導したであらう、勿論、進行は遲々たるものであり、支那は暫時南滿洲を日本の統制下に委ねて滿足せねばならぬかも知れないが、究極において、事實上平和裡に共存共榮をなし得たのである。然るに現在では喪失の結果、絕對に回復できないといふのではないが、收復の手段としては戰爭以外になくなつた。この戰爭たるや到底支那に勝味なきものである。この事は已れを責めるより外はない。併しその獨善的實現の方法、誤れる判斷については、今更顧みて他をいふことはできない。

乃木將軍の遺德

法庫唯一の醫療機關乃木醫院 近代的設備で再生す

日露戰爭當時軍神乃木將軍の仁德により創設された奉天省法庫の地方民唯一の醫療機關が今回法庫在住の一米人宣教師や同縣城宮本副縣長の肝入りでその名も「乃木醫院」と改められ、近代的設備を有する醫院として再生されることになつた

この挿話 の經緯といふのは斯うである、明治卅八年三月十日奉天附近の大會戰でクロパトキンの率ゐる卅六萬の大軍を破り大捷を博した皇軍は更に北走した敵を掃蕩するため五月十日英額城、威遠堡門、昌圖康平の線まで北上したが、その際乃木將軍の第三軍は九月十六日休戰を命ぜられるまで最左翼にあつて大決戰を準備してゐた、その時第三軍司令部は法庫門にあり、乃木將軍はこゝに

二ケ月餘 滯留してゐたといふ、將軍の寢泊りした軍司令部跡の建物はなほ現存して民家に使用されてゐるが、軍司令部の近くに當時戰傷者の收容所に充てられた建物があつて、休戰になつて軍を後退せしめる時、將軍は「以後民衆のために使用させよ」と醫療器具と若干の資金を縣公署に與へて凱旋して、以來縣公署は將軍の仁德に應へて法庫衛生醫院を設立して同縣公署の經營とし經營費は法庫に移入される

農產物に 對し縣當局で便法の附加稅を課して捻出してゐたものであるが最近に至り稅務司當局の課稅制定によりかゝる便法の施行が許されなくなつたため折角の醫療機關も經營難に陷り廢院の運命に立ち至つたところ日露戰爭前から法庫に居住し、將軍の滯在中は屢々面接したこともあり今なほ將軍の德を畏敬してゐる法庫基督教會のウヰリアム宣教師(米人)が將軍の

仁德を永 く後世に傳へたいと宮本參事官等と語らつて醫院の再生に奔走した結果、保健司當局でも贊意を表して愈々乃木醫院建設の運びに至つたものである

原動機取締規則

治安部令第九十號にて發令 發令規則の內容(其三)

【第一號樣式】
原動機設置願
本籍
住所　氏名　年月日生
【法人に在りては其の名稱事務所所在地、代表者氏名以下各樣式とも之に同じ】
一、設置地地名番號
一、使用目的
一、使用時間
一、原動機明細書　別紙
一、原動機据付基礎工事仕樣書　別紙
一、原動機及附屬裝置の配置圖　別紙
一、原動機室の構造圖面　別紙
一、煙突其の他附屬設備の構造　別紙
一、隣接地に於ける建物並に附近の見取圖　別紙
一、原動機設置工事竣工豫定期日
右の通原動機設置致度に付御許可相成度此段奉願候也
年　月　日　右氏名印
何省長殿

【第二號樣式】
原動機明細書
一 汽罐明細書(蒸罐を除く)
1 鋼製汽罐
一、種別、名稱並模型式
二、制限壓力又は水頭壓
三、構造
1、爐格面積、2、傳熱面積3、罐胴の材料、最大內徑全長及板の厚さ4、焰爐管又は火室板の材料最大內徑環長及板の厚さ、5、鏡板、冠板及管板の材料、形狀並に板の厚さ、9、覆板の材料及板の厚さ、7、支柱の材料、種類及徑又は厚さ、8、罐胴(從及周)の接手の種類、鋲列數、鋲口徑及鋲心距、6焰爐管及火室板(縱及周)の接手の種類、鋲例數、鋲口徑及鋲心距、10煙管又は水管の材料徑厚さ及數、11人孔、檢査孔及掃除孔の大さ及數、12排水管の材料及內徑(排水嘴子又は排水瓣の取付部分に於て測りたるもの)13安全瓣の種類、瓣徑及數14逸水裝置の概要、15壓力計の最大指度數16水面測定裝置の種類及數(硝子水面計に在りては硝子管の內徑を併記すること)
四、熔接箇所及其の施行方法
五、熔接施行者氏名
六、燃料の種類並に一時間又は一日の最大消費見積量
七、焚火方法及燃料貯藏設備
八、給水方法及設備
九、附屬裝置の種類、構造の概要並に其の能力
十 製作者名及製作年月並に經歷の概要

2 鑄鐵製汽罐
一、種別、名稱並に型式
二、限限壓力又は水頭壓
三、構造
1罐體の高さ、幅、長さ2面積、「セクション」の數3爐格面積、4傳熱面積、5安全瓣の種類、瓣徑及數、6檢査孔並に掃除孔の大さ及數7壓力計又は水高計の最大指度數、8水面測定裝置の種類及數(硝子水面計に在りては硝子管の內徑を併記すること)、9逸水裝置の概要、10排水管の材料及內徑(排水嘴子又は排水瓣の取付部分に於て測りたるもの)
四、燃料の種類並に一時間(又は一日)の最大消費見積量
五、焚火方法及燃料貯藏設備
六、給水方法及設備
七、附屬裝置の種類、構造の概要並に其の能力
八、製作者名及製作年月並に經歷の概要

3 蒸罐
一、種別、名稱並に型式
二、制限壓力
三、構造
1蒸罐の內容積、2罐胴の材料、最大內徑、全長及罐の厚さ、3鏡板の材料、形狀及板の厚さ、4蓋板の材料、形狀及板の厚さ、5蓋板締付方法の概要、6締付用螺釘及留釘の材料、徑、螺子の種類及數、7罐胴(縱及周)の接手の種類、鋲列數、鋲口徑及鋲心距、8安全瓣の種類、瓣徑及數、9給汽方法の概要、10壓力計の最大指度數、11排汽及排水方法の概要
(四)熔接箇所及其の施行方法
(五)熔接施行者氏名
(六)附屬裝置の種類、構造の概要並に其の能力
(七)製作者名及製作年月並に經歷の概要

二 蒸汽機關明細書
一種別、名稱並に型式、二汽筩の內徑及箇數、三衝程の長さ、四汽壓及眞空、五一分間の迴轉數、六馬力、七蒸汽膨脹の段數、八「タービン」回轉胴の徑、九節動輪の直徑、重量及箇數、十調速器の種類並に構造の概要、十一傳動の方法、十二附屬裝置(冷汽器、排汽喞筒、潤滑油喞筒、循環喞筒等)の種類構造の概要並に其の能力、十三製作者名及製作年月並に經歷の概要

三 內燃機關明細書
一種別、名稱、二型式(行程式、着火方式、燃料噴射方式等)、三氣筩の內徑及箇數、四衝程の長さ、五一分間の回轉數、六馬力、七節動輪の直徑重量及箇數、八傳動の方法、九氣冷却方法並に設備、十排氣管並に消音器の箇數及構造の概要、十一燃料の種類並に一時間(又は一日)の最大消費積量、十二燃料貯藏設備、十三起動裝置、調速機の構造の概要、十四附屬裝置(空氣壓搾機、潤滑油喞筒、瓦斯發生裝置等)の種類、構造の概要並に其の能力、十五製作者名及製作年月並に經歷の概要

四 電動機明細書
一種別、名稱並に型式、二電氣方式、三電壓及電流、四周波數、五一分間の回轉數、六馬力又は「キロワット」、七傳動の方法、八主要附屬設備の概要、九製作者名及製作年月並に經歷の概要、十他より電力の供給を受くるものは其供給者名

雜穀取引に際し土砂拔實行

十一月から全滿一齊に 新京の好成績に鑑み

滿洲重要物產組合では豫て雜穀の取引が土砂混合のまゝ行はれてをり、種々取引上の障害となつてゐたのでこれが改善の第一歩として土砂拔取引の實行を企圖し、全滿特產商組合ならびに糧棧に對し交涉中のところ、いづれも贊意を表し、來る十一月一日より全滿一齊に實行されることに決定した、しかして雜穀の種類は高粱、包米、小豆、粟等に限られてゐるが次第にその範圍を擴げることゝならう、なほ新京においては全滿に魁けすでに土砂拔取引を實行し好成績を擧げてゐる

第三回科學審議委員會

第三回科學審議委員會は十日午前八時から國務院講堂で開會、勞頭會長張總理の次の如き挨拶あり、次いで鈴木大陸科學院長から第二回委員會決定の研究事項の報告があつて議事に入り

一、資源の開發利用上必要なる科學的研究事項
一、康德四、五、六年度大陸科學院研究事項
一、新規研究豫定事項

の說明があつて午前十時四十分閉會した

△張總理挨拶內容

本會議も既に回を重ねること三回となり委員各位の御熱心なる御研究によつて着々その成果を收めつゝあります、わが天與の資源は近代科學力で逐次利用厚生の實途に供せられつゝありますが、しかりといへども科學的には全然處女地でありますから、滿洲產業界をして、より現下の激烈なる國際經濟戰場に伍せしめんには今後更に絕大なる努力を要するは當然であります、政府は曩に第二期產業計畫を樹立し民生の向上と國力の充實に併せて國際環境に對處すべく銳意邁進しつゝあり、各位におかれましてもわが意圖を諒とせられ今後ますます御協力を賜はらんことを懇願してやまざる次第であります

なほ出席者は次の通り

△總務廳=張總理、神吉次長、谷次長、松田企畫處長、古海主計處長△企畫廳=野田飯澤兩參事官△土木局長直木倫太郎△民生部=宮澤次長、黑井技正△產業部=岸次長△經濟部=西村次長△交通部=平井出次長△畜產局=濱田局長△關東軍=吉岡大佐△大陸科學院=鈴木院長、有馬、吉村、江守川上、丸山、本岡各研究官△關係者=旅順工大教授中井博士、その他

新造連絡船 黑龍江丸就航

新たに御目見得した日滿ラインの黑龍丸は三菱重工業長崎造船所に於て建造中であつたが此程見事に竣工したので近く就航する事になつたが同船は總屯數七千百屯の優秀なる客船である

藤江少將送別會

關東局警務部員は先般の陸軍定期異動で憲兵司令官に榮轉した警務部長藤江惠輔少將の送別會を九日午後六時より中央飯店に於て盛大に開催したが尚同少將は十五日午前十時發はとで赴任する

建國大學生 募集要項決る

去る五日勅令によつて創設を見た建國大學は康德五年五月二日開校の運びとなつたが、十日新入學々生の募集要項を左の如く發表した

一、募集人員 日鮮臺滿蒙露×民族を通じて總數百五十名
一、應募資格
イ、日鮮臺人 中等學校四年修了者、または同等以上の實力ある者
ロ、滿蒙露人 高級中學校卒業者、または同等以上の實力ある者
一、試驗期日 志願者は日本の道、府、縣、樺太廳、朝鮮、臺灣總督府、關東局、駐滿大使館、滿洲國省及び特別市駐日滿洲國大使館、協和會の推薦を受けたるものにつき十二月中第一次試驗、二月中に第二次試驗の結果合格を決定す
一、筆記試驗科目
イ、日鮮臺人 國語、漢文作文、地理、歷史、數學、外國語
ロ、滿蒙露人 地理、歷史、數學、日本語、作文
一、試驗地
第一次試驗
イ、日鮮臺人 東京、大阪、熊本、札幌、仙臺、臺北、大連、新京、京城
ロ、滿蒙露人 新京、承德、安東、大連、奉天、錦州、哈爾濱、齊々哈爾、延吉、海拉爾、遼源、東京
第二次試驗
第一次試驗の合格者につき新京及び東京において行ふ
一、願書受付期間
イ、日鮮臺人 九月一日より十月二十日迄
ロ、滿蒙露人 八月二十日より九月末日迄

滿洲興業銀行上半期業績

小口金融四百廿四萬圓 富田興銀總裁演說

昨年十二月在滿鮮銀、滿銀、正隆の既存三行を買收合併し產業五ヶ年計畫遂行に對する產業資金の供給並に中小金融の圓滑化の重大新使命を擔つて登場せる滿洲興業銀行は開業以來順調なる發展を續け本年上半期業績は預金約二億一千萬圓、貸出約一億九千萬圓で、預金貸出ともに關東州を含む全滿預金並に貸出高のそれぞれ約三分の一以上を占め貸出金の中長期不動產金融は約一千萬圓、六都市に於る一口五千圓以下並にそれ以外の各地に於る三千圓以下の中小金融は約四百廿四萬圓で、去る三月一日開始の興業積金も累月進展し期末契約高は約三百萬圓に達してゐる、尚株主總會席上に於る富田興銀總裁の演說は大要次の如くである

當行は 昨年十二月三日公布の滿洲興業銀行法により金融の圓滑を圖り、產業開發に必要なる資金を供給する使命を以て設立せられたものでありまして、同月五日創立總會を開催し次で店舖の開設其他に關する諸般の手續を了し本年一月一日を以て新京本店及各支店一齊に營業を開始致しました而して當行は既存三行の業務と地盤とを繼承せる關係上純然たる創設とは異り開業以來極めて好都合の運びを見ることを得たのでありますが、又一面新機關としての

體容の 整備、既存店舖の廢合、新業務への進出等新事態に對する處理に誤りなからんことを期した次第であります、茲に第一回の株主總會を開催するに當り當期に於る滿洲國經濟界の情勢と當行の業績とを報告して各位の參考に供します當期は滿洲國經濟進展の段階に於て極めて重要なる意義を有してをります、乃ち重要產業の

確立と 厚生經濟の擴充とを二大眼目とした政府の產業開發五ヶ年計畫がこの期を以て實行に着手せられ又劃期的立法ともいふべき重要產業統制法が公布せられ、二十一種の重要產業がこれ政府の統制下に入ると同時に其他の產業の廣汎なる分野が自由經營の手に委ねらるゝこととなり、茲に國家經濟の進むべき大道が明示せられたのであります、翻つて當期中に於るわが國金融界の情勢を概觀するに當行の

設立に よつて國內金融機關の整備を見、又國內經濟力の伸張と共に各種取扱高の躍進を示して居ります

即ち當期末に於る滿金融機關(關東州を含む)の預金及び貸出金を見るに銀行數六十九行三百五店、その預金六億五千六萬六千圓、その貸出金五億七千四百三萬三千圓、金融合作社、金融組合並に金融數百六十九社その預金二千百五十二萬一千圓その貸出金四千二百八十九萬二千圓、郵局並に都便局數三百六十六局、

その貯金 六千三百八十二萬四千圓であつて、右預金總額七億七億三千六百卅五萬一千圓、貸出金額六億一千六百九十二萬五千圓に達し、前年同期に比し預金は五千五百六十萬九千圓貸出金は六千四百四十四萬五千圓の何れも增加を示してをります、銀行金利は當期初頭當行の設立を期とし中央銀行および當行の標準金利の引下げがあり市中金利も一般に低下且つ平準化の傾向をとつたのでありますが、最近日本起債

市場の 市場の情勢等より各方面とも資金調達豫期の如くならず、自然長期資金については當分これ以上の低下は期待し難き狀況にある樣に考へます、終りに當行の業績を略述しまするに開業以來大體順調の經過を示し、期末預金殘高は二億一千百十三萬六千圓、全國銀行預金總額の三二%貸出金は一億八千六百二十八萬千圓、これ亦約三二%に達して居ります、貸出金の內產業

金融と して取扱のもの九百八十一萬一千圓、中小金融として取扱のもの四百二十三萬九千圓であります唯當行は設立日淺き關係上自然舊三行の取扱來れる短期商業

當行は 設立當初政府その他より援助を受け大體當面の需要を賄ひ得る狀況でありますので、當期は債券の發行はなかつたのであります、しかし上述した通り滿洲國は今や躍進的建設の時期に入り資金の需要急增の情勢にあります、日本起債市場最近の狀況は必ずしも樂觀を許しませんが、當行は債券の發行その他に最善を盡して

興銀第一回總會開催

滿軍將兵獻金

商況(八月十日後場)

株式相場

手形交換高

天氣

支那を毒するものは誤れる抗日運動

(二) 戰へば十日にして亡びん

支那國民よ試みに過去の歴史を繙くがよい、支那の國內政治が亂脈を極め統一の由なき時に限り時の權力者は好んで排外風潮を捲起すではないか、已が秕政を蔽はんがために好んで「排外愛國」といふ煙幕を使用する、而して支那の爲政者が自己の政權の支持に汲々としてこの狡獪なる手段を弄する時に限つてその結果は必ず支那には支那だけの國恥記念日なるものを加算してゐるではないか

要するに支那では爲政者も學生層も愛國運動の本旨を履違へてゐるのである

特に 日支共同を必要とする喫緊時に當つて抗日闘爭に狂奔するが如きは時流に逆ひ東洋の平和を攪亂し、支那を危殆に陥れるの最も愚なるもので渠等こそ正に人類の公敵である、支那にして眞に國家を憂ふるものは先づ抗日政權の存在を拒否すべきだ、要するに一切の支那の國恥、國辱は悉く私權私慾に血迷へる支那爲政者の造成するところである

支那を滅すものは正にこの腐敗せる支那爲政者である

一、支那爲政者の煽動によらない排外風潮は未だ曾つて一回も起つたことがない、彼の政府の指導によつて成れる全支小學校教科書內の排日記事を見よ、彼等は支那にとつて非常に有害である

一、支那の對外協定にして支那人の所謂屈辱的なりと認むるものは悉く當時の支那爲政者の造成するところである

一、支那の內亂の起る度每に互ひに排外的氣勢を擧げて民衆を煽動し、しかもその宣戰布告の內容には必ず排[illegible]して、その自己の利あれば如何なる外國とも容易に妥協苟合を敢てしてゐる事蹟を見よ

而も支那が如何に御都合主義に終始しつゝあるかを見よ、支那の一部人士が好んで國恥と呼び、國辱と叫び泣いて屈辱條約を口に唱へるなら、一面に於て彼等のなす所を見よ

一、先づ香港を目指すことだ同地は英國の治政下に移つて以來文化の恩惠に浴し、支那人は其生活の安全保障のみに莫大なる資金を擲つて香港の土地の八、九割迄買收してゐるではないか

一、租界は如何、租界の大部分は外人の利用よりも寧ろ支那人の生命財產の保障地であり、支那人は競つてそこに資金を投じて安住してゐるではないか、しかも一度國內に擾亂が起れば軍兵も民衆も先を爭つて租界を安全地帶として避難してゐるではないか

一、經濟の獨立を叫びながら支那人は競つて自國內の外國銀行に預金してゐるところの理由は何か、その理由に今更贅言を要しない全支外國銀行における支那人の預金率に明白にこれを證明してゐる

かくの如き矛盾を數へる事は枚擧に遑がない、支那に主權を侵害されたとか、國權を喪失したとかいふが、その結果は敍上の通りで支那人自身にとつては好都合のことばかりではないか

滿洲 國の現狀を見よその賑盛なる度においてその富の增大において、生活安全保障の程度において交通の整備において、產業の勃興において、治安の維持において、民衆福祉の增加において、舊政權當時の慘狀は悉く影をひそめ今や全く王道樂土の實を結んだのである、昨今猶は全支方面の文武官にして王道國家滿洲帝國の樂土を慕つて獵官運動に來るもの踵を接し、農工勞働者は戰禍と秕政とに虐げられる支那を捨て陸續として滿洲國に押寄せ、一方ソ聯からも決死の脫走者は相ついで滿洲國領土に入つてくる、彼等の微笑む顏安らかな息、これ等は支那やソ聯では斷じて見られない明朗な情景である、北支事變の勃發するに及んで舊東北宮憲の要人連は口と筆とを揃へて支那民衆の自覺を促すべく東亞恒久の和平確立に日滿支民族の協同を叫び力強く支那の明朗化を說き支那の惡德爲政者の非を排擊すべく過般世人周知の如く共同聲明を發した程である、支那大衆はこの事實を何と見るか、迷へる支那大衆は四十年前の團匪事變當時を省み當時の支那爲政者の論告を再び反覆熟讀すべきである、支那爲政者も亦今にして悔ゆるなくんば悔を千載に殘すであらう、無益な排外抗爭を事として貴重な支那國民の生命財產を脅威し莫大な損失を招いてまで更に國恥記念日なる惡記錄を造成し剩へ笑止千萬な爆竹騷ぎを演ずる必要が何處にあらうか徒らに東方を嫉視して抗日の愚に日を送るより翻て西邊の赤魔に心すべき重大な秋ではないか歐米に依存して支那は何を得やうとするのか支那の學生又然りである、抗日共產愛國抗日運動などは支那を滅亡に導く以外の何者でもないのである、支那を毒するものは赤魔であり、支那の心臟部には既に外蒙新疆を侵略した赤魔の毒刄か擬せられてゐることを知れ、支那は對外鬪爭十日に及べは國が亡びるのである

滿洲に於る電氣事業 (四)

(七) 興業費及び營業收支

滿洲における電氣事業の投資額については舊日本側事業のみほゞ數字を有するに止まり滿洲側においては充分なる統計資料を有せず且つ現在資料は主として建設當時そのまゝの價格を表示してをり、財政窮乏のため殆んど減價償却行はれをらず實際價格との間に相當の開きあることが豫想せられるため興業費及び投資額につき正確なる綜合的觀察をなすに困難せる狀態なりしか電氣事業合同後におけるそれぞれの興業費を示せば次の通りである

▲昭和九年十二月末現在興業費

(形態別)	(興業費)	(興業費配分率)
株式會社	一一四、七八〇、一六四	九一・二%
官營	二、一五六、六五五	一・七%
自家用兼供給	八、八二五、〇三六	七・一%
計	一二五、七六一、八五五	一〇〇・〇%

次に營業收支について見るに日本側電氣事業の大部分及び滿洲側事業中官營の形態を取れる事業は概ね成績良好にして相當の利益を擧げつゝあつたが、爾餘の群小事業は經營困難で年々缺損を續けてゐたが、滿洲事變後從來好調を續けてゐる大規模事業は時局の好轉と共に目覺ましき躍進を遂げ、又從來窮乏に呻吟せる群小事業も或は地元の活況により或は外部の助力による經營の刷新によりそれぞれ回生し相當の利益を擧ぐるに至りたるもの尠からず、概して事變後電氣事業收支は著しく向上したと言ひ得、たゞ僻地の事業で匪害災害等の影響を受けまだその傷痍回復するに至らないため經營困難を告げつゝある事業あるを見るのみで是等も遠からず治安の回復、地元の復興資本的援助等により更生することが出來る

(八) 供給料金

滿洲國內における主要電氣事業の悉くを合同し成立せる滿洲電業會社は電氣料金の合理化及全滿的統制を以て重要なる使命の一となしてゐるが、創立日尚淺く複雜多岐なる舊事業者の料金率を直ちに改正する事は各方面に急激なる影響をおよぼすの虞あるに鑑み當分舊事業者の料金料率を踏襲し漸進的に改正統一の實を擧ぐるの方針を採つてゐる

抑々滿洲における電氣料金は舊滿電及滿電系事業の供給地域たる關東局及滿鐵附屬地と滿洲國とにては著しき懸隔あるを知る

滿洲國側においては供給料金は一般的に著しく高率にして料金制度に就ても殆んど無統制の狀態であつた、料金建値は從來概ね當地方の通貨本位とし奉天省においては現大洋、吉林省にては吉大洋又は哈大洋、黑龍江省及興安省は江大洋を大宗とせしも滿洲中央銀行設置後殆んど國幣に統一せられた、料金制度方式として從量燈制を主とし定額燈制比較的少なく保證金および計器損料は各事業者とも概ね之を徵收し、從量燈制においては準備料金および最低料金制を別に設くるもの少く概ねステップ式に依る純然たる從量制度を採用し居れり

然して以上の如き電氣料金は生活程度低く民度低き滿洲國において著しく電氣文化の普及發達を阻害した

然るに關東局および滿鐵附屬地內において供給料金は之に比し著しく低廉にして日本內地主要都市の料金に比較すると些かの遜色を見ない、即ち大連、奉天、新京、安東(同率)は定額燈において日本內地の八大都市に亞ぎ、從量燈において大都市に亞ぎ低廉にして、又小口效力及電熱においては內地各都市の最低位に位してゐる

關東州および滿鐵附屬地內における電氣料金は比較的低廉であるが、滿洲國系統の料金は著しく高率にして國內產業經濟の圓滿なる發達を助長促進するとゝもに三千萬民衆をして電氣文化に等しく均霑せしむべく是等滿洲國系統の料金を合理化して低廉ならしむる事は滿洲電氣事業界における今後の最大重要問題である

滿洲電業會社の成立は料金の低廉化合理化への第一段階とも見るべく、既に本節冒頭に述べたる如く、同會社の料金政策は急激なる變動を排し、漸迫的に合理化の實を擧げんとするにありその改正合理化の主眼は滿洲國特異の國情に適應せる料金制度の制定にあり、更に今後五ケ年間を劃し、同一都市において異る料金を有するものゝ完全なる均衡統一を企畫して居る、而して同會社の料金合理化政策實行の曉は全滿重要地の料金は日本側事業の料金と同率となり、この關係會社に對する統制を考慮に入るゝ時は全般的に料金著しく低廉となるべく產業開發、工業助成に貢する所大なるを期待さる

鴨綠江上流向郵便は鮮鐵で遞送する

九月から郵送のスピード化

鴨綠江上流地方に於ける滿洲國側郵便物の朝鮮側遞送に就いては滿鮮協定に基づき曩に局地交換を行つて一時的便法としてその後滿鮮當局間に料金協定その他技術的問題を折衝中であつたがこのほど兩者の協定成立し愈よ九月より輯安、海口、長白地方への郵便物は鮮內鐵道に依つて遞送される事になつた、然して輯安地方へは平壤―前川―滿浦鎭、海口へは前川―中興鎭、長白には京城―吉州―惠山鎭の各鐵路經由に依るもので、この結果從來自動車便に依るに比し一週間乃至十日間の短縮となり同地方住民の福祉はもとより東邊道復興工作にも一段の拍車がかけられるものと期待される

恤兵献金

關東軍扱

△一萬五千圓大日本相撲協會△玉錦双葉山一行代表朝日山四郎右衛門、熊ヶ谷豬之助、友綱龜之助△五百五十九圓八十九錢吉林市吉林總商會內吉林總商會長傅昭魁以下職員四八名△百圓永吉縣分山路河楊惠鄉外商民二〇六名△三十圓吉林市內各郵便局職員一同△十六圓吉林省立吉林工業學校土本系二年實習生一同△五圓吉林鐵路局松江寮內佐藤文次郎外三名△五十圓公主嶺原田武夫△二十圓公主嶺井崎武外五名△十圓公主嶺匿名△三圓公主嶺河合熙△十圓二十四錢公主嶺森口福壽外三名△五十圓公主嶺郵便局廣瀨圭造外二十三名△五十六圓十六錢吉林市日本小學校高等科一年石井忠外二名△七圓九十四錢通遼縣城內日本小學校尋常五年生月野禮子、月野孝子△百五十圓四平街鐵道東四平街交通公社員一同△三圓四平街驛賣店主沼川德子△三圓三十七錢四平街田邊清子外一名△二圓六十錢四平街森本照子外一名△二圓一圓五十錢四平街西尾四子△一圓五十錢四平街三好利子外二名△三圓十八錢四平街角田松子外一名△十圓三錢四平街山本實外一名△一圓二十一錢四平街沼川廣外四名△五十錢四平街岡田央外三名△五圓四平街內藤サチ子外二名△三十七圓五十六錢新京八島小學校富樫攀外四名△六百二十九圓二十四錢新民縣官民一同代表縣長陳蔭翹△百圓新京市場株式會社小賣店組合一同△二百圓新京市場株式會社社員一同△三十五圓新京小松正昭△十五圓范家屯熊田幸雄△六十六錢四平街尋常小學校乘田榮、明石續、乘田年雄、相馬久二△二十圓四平街澤畑みち△三百二十七圓四錢奉天在住者有志代表池田功△三十八圓九十二錢奉天在住者有志婦人代表川村ツネ△十圓鐵嶺森敬三、井本眞次、波多江健夫△五百七十四圓五錢綏化安全農村農務楔聯合會關係機關職員一同、農民一同、綏化農村普通學校生徒一同△百圓綏化縣四方臺分會會員△千百九圓新京附屬地飲食店組合員一同△五十圓新京三笠町南原勇一郎△十圓新京小林キツ△五十八圓新京代書業有志者十四名△一萬九千三百十六圓十五錢金百圓新京老松町七番地吉川商會商店員一同、五十圓新京驛驛長稻川利一、百一圓新京北十條通り營口窯業株式會社、八圓〇五錢新京富士町二丁目一二たで內永井明知外六名、拾圓新京の家楠野權一方楠野久子、四十圓新京錦町匿名、[illegible]圓新京三笠町三丁目新京茶商組合、二十圓不明匿名、二圓十七錢新京清明街二〇四長田夫人、二圓右同長田茂義、十五圓二十八錢八島小學校琴尾和男、百圓濱江省望奎縣正眞鍋巖、百圓右同欒繼藍三井齊克恭、百圓濱江省望奎縣信字四井亭、百圓右同耿玉、百圓李世五、百圓濱江省望奎縣寬字三井喬荒趙連城、百圓濱江省望奎縣惠字七井劉茂永、百圓城東南隅楊成、百圓城西北隅龐雲五、百圓城東北隅關福寶、百圓城西北隅劉洪宣、五圓一錢大連市榮町二ノ二十神戶壽行、六圓三十八錢神戶敬子、百圓大連水上警察署氣付大連水上商組合、十八圓五十四錢牡丹江省牡丹江圖明街三ノ一四カフエー愛國山田ハルエ、三十四圓新京興安大路松屋ホテル中村熊吉外十一名、百五十五圓八十錢奉天省遼源縣鄭家屯大日本國防婦人會鄭家屯分會、十三圓錦州省綏中縣娘々項機關分卡大谷一夫外八名、百圓新京吉野町一丁目二四森野商店員一同、五十圓新京東一條通一四番地新京靴商同業組合一同、三十圓同日本橋通三八大和館主金惠淑、一圓新京特別市西七馬路二條胡同三六號朴燦玉、十七圓新京商業四年生芝義雄、小河正治、一金一千圓國防獻品資金として新京永樂町二ノ六久野清太郎、二千八百七十九圓廿三錢

各艦隊に通譯を常時配置

【東京國通】海軍では今回各艦隊に通譯を常時配置することゝなり、これに伴ふ艦隊令改正の件の御裁可を得たので九日左の如く公布した

一、艦隊令中左の通り改正す

一、第八條中准士官のもとに判任文官を加ふ

一、第四十九條を第五十條とす

一、第四十九條判任文官は上官の命を受けて服務す

農事合作社の根本義

農畜產の大增產と農民の生活安定へ (下)

產業部農務司長　五十子卷三

農を通じて建國の理想實現へ

加之に 我國現在の農民經濟の窮乏生活の低下は商工業者其他都市居住者に比して極めて著しいものがありまするので全滿主義に基く都市と農村との間の調和農民とその他の業者との間に均衡國民全體の生活安定向上と云ふような點から申しても當然農民の福利增進、生活の安定向上と云ふことは必要でありその爲には從來私經濟的方面に於て無組織無統制であつたが爲に常に損をし又は得べき利益を得られなかつた農民を組織統制してその組織統制の力に依つて從來の支出の增加と收入の減少とを矯正して行くと云ふことが必要であります更に又我國に於ては農業者は全國民の大半を占めてをります我國の現狀よりしましてもその福利を增進しその生活を安定向上を圖ることにより國民生活の安定大體達成し得るのでありますされば[と]言つて農民の福利增進と云ふものは無制限に之を認む可きではなく自ら限度かあります、組織と統制とは農民の正當なる利益を擁護し妥當なる範圍內に於てその福利を增進すべきであり業者が不當に利すると云ふやうなことは全體主義の本旨よりしても到底許されないのでありますかゝる點をしまして農民の組織體たる農事合作社の目的とする農民の福利增進に就ては之を政府の統制の下に置かしむる必要があり、政府は全體主義の本旨に則り農民の正當なる福利增進を圖らしむ可きであります、即ち政府の統制の下に農民の福利增進と云ふこと之亦當然農事合作社設立の根本目的の一であるのであります

次に農の本質農民の本來の使命と云ふやうな點から考へて農事合作社は又他に重要なる目的を有してをるのであります、農とは農民が土地を對象として營む所の業でありそれより生れました農產物と云ふものは國民全體の生命の糧であり更に又商業の對象工業の原料の大部分であるのであります即ち農は國民全體の生命の基すべての產業の母とも稱すべきものであります

農民は斷じて自己の生產したる農產物を利することは許されないのでありますもし之を私しましたなら國民全體はその生命を維持することは出來ずあらゆる產業は成り立たなくなつてしまひ更に天の命に背くことゝ相成るのであります農民は自己の生產しました農產物は之を國民全體に否人類全體の間に公平妥當に配分し依つて以て國民全體の經濟を進展せしめ生活の安定向上に資せしむべき使命を有してをるのであります、即ち農民は假令自己の生產したるものでありましても之を利己的に利用配給せず天の命ずる所に遵ひ道義に則り良心の命ずるまゝに全體主義に則して廣く萬民の經濟發達生活の安定向上の爲に配分すべき尊き使命を有してをるのであります

即はち 國民生活の安定向上の爲に自己の生產物を公平妥當に配分すべき義務を有してゐるのであります、即ち農民は自己の生產物の配給と云ふことに於てもこれを通じて廣く國民全體の生活安定向上道德と經濟との調和道義經濟の確立即ち我國建國の理想たる王道樂土の建設道義世界の建設に邁進すべき使命を有してゐるのであります、かゝる農の本質を生かし農民の本來の使命を遂げしめる、即ちその生產物の配給を公平妥當ならしめまする爲にはどうしても農民が現在のやうな何等の組織がなくバラ〳〵に動いて居りましては到底不可能でありまして公平妥當に配給すべき組織と云ふものを必要とするのでこゝに又農民の組織の統制化と云ふことがどうしても必要と相成るのであります、即ち農民は產物の配給を國民全體の間に公平妥當圓滑ならしめ全體主意を徹底せしめ依つて以て建國の理想たる王道樂土の建設、道義世界の建設の完成を期すると云ふことが又當然に農事合作社設立の根本目的の一であるのであります

以上のことを一括して申上げますれば農事合作社の根本目的とする所は國家の計畫に從つて農業を開發し以て國力を充實發展せしめ更に政府の統制下に農民の福利增進を圖りその生活を安定向上し更に其の生產物を道義に則り廣く國民全體の間に公平妥當圓滑に配分し全體主義に即して國民全體の生活安定と向上とを圖り更に進んで建國の理想たる道義世界の建設に在るのであります、之を要約しますれば農事合作社の根本義は『農を通じて建國の理想實現を目的とする農民の自治的組織』と云ふことになるのであります

康德四年六月二十八日の國務院會議に於て農事合作社設立要綱第一方針として左の如き決定を見農事合作社の根本義は極めて明確となつたのであります

國家の計畫に從ひ農業の開發を促進し政府の統制下に農業者の福利增進を圖ると共に生產物の配給を圓滑ならしむる爲め(中略)農事合作社を設立せしむ

家庭

うだる炎暑

無暗に飛び付けない不良飲料水

危い硝子入りのサイダー

清涼飲料水の良い悪いは、正確には細菌學的、科學的檢査によらなければなりませんが、これを外觀から見分ける方法としては先づ罎を明るい方に向けて透かして見た場合透明で何等にごりのないものは良品であるが、王冠のところをつかんで

罎を極めて靜か

に傾けつゝ逆様にした場合、底の方から沈澱物がおりてくるやうなものは内容が腐敗してゐる證據である。たとへ腐敗してない迄もさういふ品は製造方法が不完全の證據であるからどつちにしても良品とはいへない。また炭酸ガス入りのラムネ、サイダー等の中には、よくガラスの破片が沈下してゐるから特に注意が肝要である。ガラスのかけらがなぜ沈下してゐるかといふと罎を造る時に溶かしたガラスを管につけて吹くが、その際罎の内側に小さな

粟粒の様な氣孔

が澤山出來る。この氣孔は極めて薄いガラスになつてゐる關係上、サイダーなりラムネ詰め込む時ガスの壓力のためその薄いガラスが破れて沈下するわけである。又運搬の場合にもこの薄いガラスは破れ易いし、更に罎につめ込む時ガスの壓力で罎が破裂する時があるが、そんな場合他のまだ王冠をはめてゐない罎へかけらが飛び込んで口を切る樣な大きなものが沈下してゐることもある。この點からみて飲料水を飲む時は、一度にどつとあけず

底に少し殘す位

にしたいものです。次にサイダーなどは王冠も被つた時、ガスの出の悪いものは、王冠がゆるくガスが逃げてゐるわけで、内容がいたんでゐる心配があると同時に、さういふものは古い證據である。ガスの入らないシロップの場合も殆ど同じであるが、このシロップには天然と人工の二種があつて、前者の場合は果實の組織成分を混入したもの（例へばレモンスカッシ等）は透明でなくともよいわけで、この場合の見分け方は内容によるほかはなく、なめて見て變な臭ひがしたりするものはいふまでもなく不良品である。

要するに是等の

清涼飲料水は蓋をとつてながくそのまゝおくと、外から雑菌が入つて腐敗せしめるおそれがある。で口をあけたら早く處分するに限るが、とつておかなければならない場合は蓋をして冷たいところに出來れば冷藏庫にしまふやうにしたいものである。

氷を買ふときは

無色透明で、泡の少ないものを透かして見て雑物のないもの、まるで虫の食つた様な穴のないものを選ぶべきである。なほ氷の中央には必ず一ヶ所に白い部分があるが、これは氷のうちで一番悪い部分であるから除けなければ食してはならない。

夏のお砂糖

溶けたら味も質もゼロ 「手拔りなきやう」

▽……日本の濕氣の多いといふことは、我々の衣、食、住すべてによくない影響を與へてゐます。殊に食料品のもたないこと、腐敗しやすいことは、或は世界一でせう。

▽……で濕氣の影響を一番直接に、すぐに受けるものは—と云ふと、それは砂糖なのです。砂糖は空氣中の濕度を七七・四パーセントを限界として水分を吸收し又發散します。夏に砂糖や、砂糖でつくつた菓子のドロドロ溶けるといふことは、既に皆様の家庭でしばしば經驗して居られることでせう。

▽……といつて砂糖そのものには吸濕性はないのですが、空氣の濕度、濕度の變化からつまり晝間溫度が高くなるために、蒸發した水分は夜間冷えてつゆになつて砂糖の上につきます。と、砂糖は溶けます。溶けるとたちまちそこに細菌が活動をはじめます。で砂糖は葡萄糖と果糖とに分解されます。この葡萄糖、果糖といふのは、兩方とも吸濕性のものですから、その上にますます水分を吸つて遂にはドロドロになつて流れ出すわけです。そしてそれは一種の菌臭を帶びることもあり、又酸味を呈することもあります。

▽……ですから、もうドロドロしてゐるやうな砂糖は、普通の砂糖ではなく、葡萄糖或は果糖だと思はなくてはなりません。それを防ぐには、出來るだけ溫度、濕度の變らないやうに保存しておくことです。

▽……では葡萄糖や果糖は我々に有害かといふと決してさうではありません。つまり質が變り味が變るといふことなのです。そしてこの變化は精製した高級の砂糖程はげしいのです。これはアメリカのルイジアナ州の砂糖試驗所のオーエン博士の實驗研究ですが細菌を分離してしらべて見ると、精製しない下級砂糖の中には、細菌の發育をさまたげるカラメルが入つてゐる。そのために變質しにくいといふことがわかりました。これで大體砂糖の性質、貯へ方もおわかりになりましたことと思ひます。

料理獻立

お惣菜向きの 一、變り柳川、二、おろし和へ

お暑さがつゞきますと健康な者でも弱つてしまひます。このやうな時には鰻や鰌など川魚がよろしいことは皆様御承知の通りでございますが、あまり同じお料理でもあきますから、けふは變り柳川を申上げませう。

そのお取り合せにこのやうなおろし和へを致しますと、あまりおろしが強くなくてお子様も喜んで召上ります。

一、變り柳川

【材料】（五人前）
開き鰌　四十尾（正身二五〇瓦）
牛蒡　一本（正身二五〇瓦）
小麥粉　大匙三杯
揚げ油
漬汁
酢（三勺）出汁（一勺）醤油（五勺）みりん（三勺）砂糖（小匙四杯）鰹節（一摘み—三瓦）昆布（三寸）

この一人前の蛋白質九・九瓦、カロリー二一五でございます。

開き鰌に粉をつけて揚げ笊がき牛蒡のゆでたのと一緒に一晩漬け汁に漬けます。

二、おろし和へ

【材料】（五人前）
バナナ　一本正身一〇〇瓦
胡瓜　一本正身一〇〇瓦
トマト　一ヶ正身一〇〇瓦
大根　半本正身二五〇瓦
甘酢
酢（三勺）砂糖（小匙四杯）鹽（小匙一杯）

この一人前の蛋白質一瓦カロリー五〇でございます。

バナナ小口切り、胡瓜とトマトの三分角を何れも鹽水につけ、甘酢の中におろし大根を入れた中で和へます。

ラヂオ

けふの番組

（M・T・C・Y）（新京 放送局）十一日（水曜日）

朝

六、二五　ニュース（東京）
六、三〇　ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
六、五〇　初等滿洲語講座（大連）　講師 秩父固太郎
七、一五　朝の音樂（大連）
七、四五　建國體操
八、〇〇　氣象通報（大連）
九、〇五　經濟市況（東京）
九、三〇　經濟市況（東京）
一〇、〇〇　家庭講座（大連）學校からお母さん方へ　大連大廣場小學校長 松原 斧吉
一〇、二〇　料理獻立
一〇、三〇　家庭メモ
一〇、四〇　經濟市況（大連・新京）
一一、三五　經濟市況（大連）
一一、四〇　經濟市況（東京）
一一、五九　時報（東京）

晝

〇、〇五　晝の演藝（レコード）
〇、三〇　ニュース（東京・新京）
一、〇〇　經濟市況（大連・新京）
三、〇〇　經濟市況（大連）
三、四〇　經濟市況（東京）
四、〇〇　ニュース（東京・新京）
四、三〇　經濟市況（大連）
五、二〇　ニュース（鮮語）
講演（鮮語）滿洲國の内國税制度に就いて（一）　經濟部大臣官房資料科長 金佑秤

夜

六、〇〇　天然記念物めぐり（十四）（京都）京都滋賀の天然記念物に就いて　藤田 元春
六、三〇　子供の時間　夏休みラヂオ双六（第四日）
六、五〇　コドモの新聞（大連）
七、〇〇　ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇　實驗と講演（熊本）=京都帝國大學火山研究所阿蘇山上觀測所より中繼=大地を打診する　理學博士 佐々憲三
八、〇〇　ピアノ獨奏（東京）レオニードクロイツアー　子供の情景作品十五　シューマン作曲　外二曲
八、三〇　水十夜「第十夜」（札幌）=北海道忍路高島海岸より中繼=忍路高島海岸の波の音
八、四〇　ラヂオヴアラエテイ（東京）
九、三〇　時報・ニュース（東京）ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告（新京）
一〇、一〇　ニュース再放送
一〇、三〇　北滿の時間（哈爾濱）
一一、〇〇　滿語の時間

立秋

さやさやと高粱の葉の鳴るきけばこのあめつちに秋は來向ふ（寒太郎）

=阿蘇山上觀測所より= "大地"を打診する

理學博士 佐佐憲三氏の實驗と講演

〔後七・三〇〕

（佐佐博士は京都帝國大學助教授です）

◇…地球をたゝきますと、内部を傳はる縱波と横波、それに表面に沿ふて傳はる表面波との、三種の彈性波が送り出されます。その内地球の内部を通つてくる縱波、横波がその通路の狀態に應じていろいろの變化を受け再び地表にあらはれるのを地震計によつて記録されます。この記録が地球内部探險記で一種の診察録であります。

◇…地球の中心附近を調べるために、その附近を通つて再び地球に出て來る波の探險記を記録させるためにはこの阿蘇五岳を阿蘇谷南郷谷のレベルから外輪山の頂きのレベルまで持ち上げてドストンと落して叩く位のことをする必要があります。關東、丹後程度の大震の際は送り出された彈性波は地球の内部到るところを通つて全世界の地震計に記録されてゐます。これらの記録によつて内部を打診しますと地下五十粁で波の速度が増し岩石の種類が變り、深く進むにつれて、波の速さが増します。深さ千粁では再び調子が變り速さが急に少なくなります。

◇…今回は地震計による微動を音に變へ地球打診の實際を實驗しつゝ解説を加へてゆきたいと思ひます。（寫眞は佐佐博士）

クロイツアー氏のピアノ獨奏

〔後八時（東京）〕小品曲"子供の情景"外

一、子供の情景　作品十五番　シューマン作曲

謝肉祭、ダヴイド同盟舞踏曲幻想曲、少年曲集等々シューマンの小品曲集は幾曲もあるが「子供の情景」もその一つで十三の小品から成つてゐる。これを作つたのは彼が二十八才のとき、例のクララと結婚する二年前である。僞りのない子供の天性を描き出したこの十三の小品集は（ト）の夢みつつ=トロイメライを筆頭に一連の眞珠のやうに優しく純に、そして氣品高く輝いてゐる。内容は

（イ）不思議な國
（ロ）珍らしいお話
（ハ）かくれんぼ
（ニ）だだつ子
（ホ）滿足
（ヘ）重大事件
（ト）夢みつつ
（チ）爐邊
（リ）木馬の騎士
（ヌ）むきになつて
（ル）びつくりさす
（ヲ）眠れる子供
（ワ）詩人は語る

二、愛の夢　第三番　變イ長調　リスト作曲

作品六十四のリストの「愛の夢」は三つの小品を集めたもの、この第三番變イ長調はフライリヒラートが作つた「おゝ愛よ」といふ一篇の抒情詩にリストが旋律を附したものを、後改めてピアノ曲に編曲したもので美くしい詩的な小品である。

三、ハンガリア狂詩曲　第十五番　リスト作曲

一八五一年より四年迄の間にリストはハンガリア狂詩曲を十五曲作つた。何れも原曲はピアノ獨奏曲であるが後に弟子のデウプラを助手として六曲を管絃樂に編曲した。又ミユラー・ベルグハウスも第二番その他を管絃樂曲に編曲した。是等狂詩曲はハンガリア獨特のラッセン調フリスカ調=チャルダシを巧みに用ひてゐる事を特徴としておりブラームスのハンガリア舞曲と共に國民音樂の典型とされてゐる。今夜放送される第十五番は通稱「ラコッチー・マーチ」といはれ、これら十五曲の中で最も知られてゐる一つである。

水十夜

—忍路高島海岸の波の音

=高島海岸辨天島より=

追分節　酒井歌丸
尺八　岩船富八

〔後八・三〇〕

唄に名高い忍路高島は北海道後志國積丹半島に續き港小樽に近く北天鹽の國雄冬岬と相對して石狩灣を形成し古來より鰊漁場所として廣く江湖に知られゐる所である。又その昔九郎判官義經は兄頼朝の猜疑如何とも爲し難く黄金花さく陸奥の秀衡が館に身を寄せたのであつたが、更に逃れて遠く北海の荒海を渡つて蝦夷地江差へと一時身を忍ばせ酋長の美しい娘との間に幾多の戀のロマンスを遺して海外へ渡航したとの傳説のある地方である。この地の海岸と沖合の辨天島とにマイクを配し日本海より押し寄せる荒島の自然を吸收し、海上には小舟を浮べて船中より流れ出る追分節の纒綿たる情緒を包んだ哀調に義經のロマンスを偲び遠く沖を通る江差通ひの定期船の汽笛の音に北海の夏の宵の涼味を滿喫させる豫定である

學藝

三宅豐子氏の歌集　"七草"私記

桃北好澄

「七草」はあしかび社同人三宅豐子氏の處女歌集、昭和五年以降の近業を輯録したものである。

一月七日が私のお誕生日であり、私はそのお誕生日が好きであり、いろいろ想出もある日なので歌集の題を"七草"とした

と卷末記に著者は述べてゐるが、一巻を流れてゐるものはこの「やさしい心」であり、「純情」、「詩人の智慧」である。

□

氏の小説にしても分析的であるより多分に觀念的であると言へる。（氏の作品から暗さや絶望を見出すことは出來ないであらう、何か詩を讀んでゐるみたいな愉しさを覺えるのである）。

私は、曾つて著者が本欄に次のやうな雜記を書いてゐたのを、今此處へ引張り出して興味深く思ふ。即ち

今書きたいものは胸いつぱいにある、だが考へてみるとどれも書けないものばかりのやうな氣がする。それは唯私に周圍を押し切る勇氣がないだけでなく若しかしたら才能がないのかも知れないと思はれ、前から何度も思つたことだけれど、私は小説を書く人間としては少し呆んやり過ぎる女のやうだ、それに甘過ぎるし唯の女になりたい（中略）幸福な生活、それは恐らくはもう私の上に來ないであらう、けれど若し、若しかの偶然でそれが私の上に訪れる日があつたら私は、さつさと引上げて唯の良い奧さんになりたいと思ふ。文學といふ仕事、それは立派な重い仕事だ、けど女の場合、それは不幸な女の行く道のやうな氣がしてならない…

「才能がないのかも知れない」といふのは、此の場合、反對に「詩的才能（神から授かつた詩人の智慧）の過剩」を意味しないであらうか。だから、詩人三宅豐子氏は小説に立向ふ時に「呆んやりし過ぎる」自分を感ずるのであると言へる。文學の旅に於て甘い半面と格闘し、虚脱しやうとする努力を顧み、一家の主婦であり、二人の子の母である氏は偶々「不幸な女」を感ずるのに違ひない。而しわれわれは、右のやうな文言に接しても、甚だしく、悲愴といふ感じを受取らないのはどうした事であらう。善かれ惡しかれ、三宅氏は生れ乍らにして「詩人」であつた。

□

そこで思ふ—而し乍ら、氏はたとへその作品が何ものにも顧みられなくなつても、失望することなく、只管に自分のイルージョンに追ひ縋つて書きつゞける人であらう。例へば、氏は弱ければ、弱いで精一杯の生き方をしてゐるやうに——。

□

さて、歌作であるが、その殆んどが著者及び家族の上を歌つたものであつて、溫雅で高いセンスに滿ち溢れた詠風である。女の作家は、女らしく、男の覗ひしらぬ平面を大いに歌ふべきものであらうと思ふのであるが、例へば、次の如き歌には、もつとも心を惹かれる。

うつそみの吾が肉體を殘りなく知れる男なりと夫を見てゐし

疑ばずうつそみまかす夫をさへはるけき人に今日は思ほゆ

昨夜ともに過しし夫を寂しとぞ見つつやさしく言かけにけり

この吾れが子を產み母となりけるをなにかあはれのごとく思ひぬ

抒情もこゝまで立ちはだかつて來ると大したものである。

又

此の母がみどり子抱きていねたらば少しさみしく子よ思ふべし

張り滿てる乳吸はせれば片方の乳はこぼれて衣を濡しぬ

あかき出て尻もあらはな子の寢ざま直しやりつつ愛しかゝりけり

薄暗き日暮の部屋にむきむきに子等遊び居り躁もたてずに

等からは愛情の角度や母親の微笑を敎へられる、だが

子等のためやつれゆく吾れをみるこころ寂しきに似れど安けかりけり

母としてひたすら吾れは生くべしと思ひさだめて時にさびしむ

きはまりし寂しさをもちて藤浪のなまめく花を見てゐたりけり

涙こぼし笑ひこけつつ寂しかりこころみじんもをかしくはなし

の如く、讀者の胸に打響いて來ることの甚だ稀薄なのは「寂し」「悲し」の用法が安易であり、餘りにも短歌的境地に墮したが故である。じつくりとした感動を與へないのは、内容の具象性、逼迫感の不足に基因してゐる。尙ほ集中、後半に於てずつと調子を落したのはどうしたわけであらうか、打ち込み方の足らないために、短歌の凄じい形式に撥ね返されたと思へる節が多い。

□

多くの詩が、一部のヤンガーゼネレーションの、主知の偏向的使嗾の裡に漸次に非現實的　沒個性的相貌を露呈するに至つたのは、詩の本然的價値の消失の點に於て特に、注目すべき事である。（中略）詩のより新しきもの、より新しくあるべきものへの連係が、單に詩人のこの狂信的寓意や、或ひは不秩序な抽象から試みられるのは一個の價すら無いものと言へよう

右は兼松信夫氏の「詩を放逐するものに關して」といふエッセイの抄出であるが、徒らに近代的な孤高のポーズを裝ふ營養不良の主知主義詩人群を叱咤するに足りやう、と共に詩人三宅豐子氏の「寓意」や「抽象」も亦新しき詩への發足に於て阻害とならねば幸ひである。

□

以上、氏の歌集を批評紹介する人は他に多いであらうから私は簡單な走り書に留めた、些か獨斷に過ぎた點もあるかと思ふが、兎もあれ、歌集"七草"は滿洲歌壇に於ける近來の大きな收穫であり、又作家三宅豐子氏を理解する上に恰好のキーボインでもあると思ふ。

尙ほこの歌集は昨秋滿日に書いた小説「羽音」の稿料で出したもので、恐らく最初にして最後にならうと卷末記にしるしてある。（東京市杉並區大宮町一五八七、あしかび社、一圓二十錢）

滿洲の雜誌の映畫欄　—獨自のものを作れ—

滿洲で出てゐる數種の特殊な雜誌が、映畫欄を作つてゐるのを見受ける。映畫欄と言つても、特に讀むに足るやうな批評などがあるのではなくただスチールと、梗概を載せた程度のものである。

それらの雜誌にも映畫の愛好者は數多くゐるのだから映畫欄をつくるのも良いであらう。しかし折角つくるならも少し内容のあるものにしたらどうなのか。別にニュース的なものを人はさしてそれらに求めないであらう。アマチユアの批評や感想で獨自のものをこしらへた方がどれだけか良からうにと思ふのである。

女流七家撰（三）　盛夏抄

小野寺清子

紺碧に明けわたる空の片照りて虹淡々と弧をゑがきつゝ

友の家は蚊張つると聞き忘れゐて久しかりつる蚊張なつかしむ

宵蚊張にいねし故國の宵々のしみら戀はしさ遠くなれれば

一塊の土だにあらぬアパートなり花がめの花の衰へ速き

苦力等の勞働は長し陽はまたく落ちてゆ夕餉の竈を焚きをり

病むひとを看つゝ果敢し苦力等の焚く火は闇に眞紅にゆれて

出征の夫を報らする若妻の筆さゆるがす見つゝ泣かる

朝なさな祈きこしめし祖國日本を盤石の安きに置かしめ給へ

二人（五）

右田卓二

輝子と新木との間を充分認める氣持が文江にはあつた。然し自分も新木に接近したいのだ。そのヂイレンマが文江の態度を感情的にした、新木は相手のそのまともな感情をさけるために外のことを言つた。

「ふん、すると君ともあるんだね」

「まあ意地わる！」

「新木さん、あるのよ、あるのよ！」

突然輝子が傍から暴露して何かおかしいのか長袖の中でくつ／＼笑ひ出した。

「まあ、どの人も此の人も……」

文江は自分であわてながら自分も笑ひ出してしまつた。

「さう言へば輝子さん、ほら僕の友達の橋崎が君を好きだと言つてゐたつけ、二日の夜會つたら」

「あ、あの歌か歌へなくて眞赤になつた人でせう？」

今度は文江がすつかり愉快になつて聞き返した。

「だがね、私あの人余り好きでないやうだね、勿論附合つてみないから分らないけどね」

「まあ、氣が澤山あるのね、それでもあの候補者如何する積り？」

「まあひどい人、わたしあの男大嫌ひよ」

「さうなの？」

「—勿論だわ！」

その男は市役所に勤めてゐる輝子の遠い親戚であつた。鄕里の親戚は是非結婚したらと言ひ、米國の姉からも若し結婚する氣になつたら費用は自分が持つからと言つて來た。然し輝子は女學校を卒業する早々結婚式をあげて間もなく逃げて來た田舍の地生の次男と同様に、又その勝瀨がすきになれなかつた。

然し勝瀨は此の冷い美しさのある輝子がすつかり好きであつた。勝瀨は小男で皮膚の色が變に思へる程黑く、狹い額の上に糊でかためた様に髮を直立させてゐた。此の家に輝子を尋ねて來て表座敷に彼女が出て來ると丁寧に會釋して再び紺の背廣で坐りなほすのである。全く彼にとつては輝子は有難い寶石であつた。

それを察してか輝子は此の男の前では變に取り澄して附合ふのだが、勝瀨が歸つて行くと文江に言ふのであつた。

「どう？、今日の澄し方うまかつたでせう。あんなに澤山お菓子持つて來ずとも良かつたのよ。」

「まあひどい、結婚する積りならもつと丁寧にしなさいよ」

然し誰にも良い男と見えなかつたので文江はそれ以上言ひ得たかつた。

「私大嫌ひよ、あんな小役人根性のしみ込んだ男なんか！」

輝子は突然から叫んで齒を噛んだ。から思ひ切つて嫌惡を吐き出すと自分が救はれた様に感じた、自分から何だか泣き笑ひしさうになつた。そして本當に怒つたのか戲談なのか自分でもどちらか分らぬままに、口をほそめ齒並を思ひ切つて文江の直ぐ前に突出すのである。

「いいさ！」

雜誌

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△滿洲評論（八月七日號）「北支事變と其次に來るもの」「北支事變と民族戰線」「內地財閥の對滿進出論著？」三篇の時評とも讀みごたへのあるもの、橘樸氏「協和會の針路確定に關する管見」岸田英治氏「支那治外法權撤廢問題管見」在滿の四一如鐵生「過渡期に在る滿洲特產資源流機構に就て」等掲載（大連市大廣場東拓ビル、滿洲評論社十五錢）

△結軍（七月二十一日號）「華北事變突發原因與滿洲國人應取之態度」その他ニュース等（治安部）

△勸業（百二號）名古屋の各種物產を紹介す（名古屋市役所內、名古屋勸業協會）

北支事變畫報第二輯

本畫報は世界の耳目を集めつゝある北支事變の報道に付多數の特派記者寫眞班を現地に派遣して報道陣に大活躍しつゝある滿洲國通信社の發行に係る第一輯は發行早々に賣切れ、其後の狀況を蒐集して八月十日に發行したのが第二輯の本書である、炎熱百三十度の北支戰線にたて壯烈なる奮戰を爲しつゝある我が陸軍の威容、滿洲並に日本國內に於る熱誠なる銃後の援狀景をニュース寫眞を以てありの儘に一目瞭然たらしめて居る　各人必見の畫報であると共に現地將士への慰問品として慰問袋に挿入する好個の贈物である（新京滿洲國通信社發行定價十錢同社支局並に各書店で發賣）

家庭醫學

結核の誘因になる 夏痩せの恢復法

秋口に結核や死亡率が殖えるのは夏の衰弱が原因

夏は濕度が高いために、身體の新陳代謝が烈しく保溫のための皮下脂肪も必要としませんので、冬に較べて幾分體重が減ずるといふことは、生理的自然の現象で、別に心配することはありませんが、これが或る程度を越すと健康を脅かす重大性を帶びてまゐります。殊に胃腸病、結核性の病氣、慢性病で衰弱してゐる人にとつては、その影響はかなり著るしいものがあります。

結核患者の死亡數が、嚴寒よりも暑熱の候において遙かに多いといふことは、夏季の衰弱が

病者に及ぼす害惡

の一面を證據立てゝゐると云へませう。それで身體に病氣のある人や、虛弱な人は、この夏痩せにかからないやうに取りわけ注意しなくてはなりませんが、實際またさういふ人が夏やせにかゝり易くもあるのであります。

今までに夏痩せの傾向のあつた人は一日も早く夏痩せから脫して體力を恢復に向はせる工夫を講じなくてはなりません。

夏痩せの第一の徴候といふべきは、食慾の進まないことです、夏は體溫保持に要するカロリーが少くてすみますから、食物も冬のやうに多く攝らなくてよい譯ではありますが、夏痩せをする人は、それが度を越して著るしく

食慾が害され

生理上必要な日常の榮養量の攝取が不足するのであります。

この食慾不振の原因は、一般に胃腸の働きが弱つてゐるからだと考へられて來ましたが、勿論それには相違ありませんけれど、たゞこれを胃腸だけの衰弱と考へ胃腸だけの藥を與へて癒すことが出來るのだと思ふのは、今日の進んだ醫學の知識から申しますと、時代おくれの觀があります。今日ではどんな病氣でも、個々の症狀をとらへてそれを癒すといふよりも、全身的に身體の機能を昂め、病原或は病毒に對する抵抗物質を作ることによつて、病氣を治癒に導かうといふのが、治療界の新しい趨勢となつてきて居ります。夏痩せのやうな全身的な機能衰弱による榮養障碍は、なほのこと

身體自身の活力

を昂めるといふ事が必要であります。

この意味から、近頃一般の家庭でよく用ひられてゐます若素（わかもと）は、夏の衰弱を恢復しやうといふ方々にとつて、極めて好適の藥であります。これはヘーフエ菌といふ一種の微生物の全成分を破壞しないよう、專賣特許の方法で製劑したもので、ヘーフエ菌特有の、細胞原形質賦活作用といふ、身體の細胞に働きかけて、その力を强くする作用がありますので、この藥をのんで胃腸の働きが活潑になるのは、普通の胃腸藥をのんだ場合と、その意味がちがひます。

胃腸を組織する細胞の働きが强くなつたのでありますから、消化作用も、吸收作用も、蠕動作用も、みな活潑になります。そして當然食慾が進みます。この食慾は

食慾增進ビタミン

と呼ばれるビタミンBの含有量の豐富なことによつて一層促進され、體重を增加し、夏やせの恢復をはかる效果は見るべきものがあります。

胃腸の病氣、結核性の病氣などで、夏の衰弱の危險を防止しなければならない方には、もつとも合理的で進歩した常用藥であります。

活動力增進と疲勞防止

「吾々が身[illegible]疲れるのは何故でせうか。以前は筋肉や血液中の糖分が新陳代謝の亂調に伴はれて盛んに消費され諸器官の動力に不足を來すからだ。故に糖分さへ補給すれば疲勞は恢復するものと思はれてゐたが最近ヴイタミンBが發見されてからは、糖分の利用調節上には之が絕對に必要なことが分つたので、疲勞恢復の爲には、糖分の外にヴイタミンBをも補給せねばならぬことが知れました。」

純正ヘーフエ菌劑若素（わかもと）をのむと、此の大切なヴイタミンBは勿論、人體內で直に糖分に變化するグリコーゲン、諸器官を强壯にする酵素が同時に補給されて、活動力增進と疲勞の防止が理想的に得られます。

心臟や胃腸を强め、浮腫麻痺を去る脚氣の綜合療法

其昔、日本武尊は伊吹山の惡神を征伐されんとして、惡氣の爲め御病氣となり、伊勢で薨去遊ばされたが、その道中「わが足三重の勾りなして甚く疲れたり」と、步行の御困難を述べられた事が、古事記に識されてゐます。

御病氣は今日の

脚氣であらうと思はれますが、其の原因は、近頃になつて、主としてヴイタミンBの缺乏による、榮養障碍だと云ふ事が分りました。

尊がひたすら賊徒御平定の爲、苦しい旅を續け給ふた前後の御樣子から拜察すると

即ち最も罹り易いのは、身體の新陳代謝の激しい姙産婦や勞働者乳兒等で、之らの人は人一倍、ビタミンBを多く攝らねばならぬ生理上の必要がある爲に、やゝもすると不足に陷るのです。

そして我國の脚氣患者は年々百萬人に達して、浮腫や麻痺の爲に活動力を殺がれるのみか、恐ろしい衝心の危險に暴され、死亡者も年々數萬人を出してゐます。

玄米や半搗米が

脚氣には一般にビタミンBに富んでゐるので、食餌療法として推奬されて居ります。而し、大震災當時白米が不足して、一時玄米食を餘儀なくされた樣な、非常時でない限り不味くて常食には適しません。

のみならずビタミンBを澤山含んでゐる胚芽は、消化が惡くて、百分の九三はそのまゝ排泄されると金澤醫大の遠藤博士も發表されてゐられるし、又脚氣そのものが消化障碍を伴ふの故、不消化の玄米や胚芽米は、この弊害を一層助長する懼れがあります。

又單純なビタミンBだけの藥が臨床上餘り効かぬ事がありますが、之れを以て見て、脚氣はビタミンB以外にも或る未知の原因のある事が知られます。

從つて脚氣を治す藥は、ビタミンBが第一だとしても、尚之を

補ふべき物が必要

工夫ですが、[illegible]を配給して興味深く思はれるのは、在來のビタミンBだけの脚氣藥より、他の、例へば胃腸によい藥などと併用する方が、遙に効目が早いと云はれてゐる事です。

其理由は、まだ研究の餘地あるものとされてゐますが、兎も角も脚氣は、ビタミンBの缺乏に、ある未知の因子が加はつてゐるのであらうと見られます。

そこで近頃では、脚氣の豫防や治療に、ビタミンB以外にも、多種の要素を網羅してゐる若素（わかもと）の服用が推奬され、既に効果を充分に認められてゐますが、それも其筈で、若素（わかもと）の主成たる活性ヘーフエ菌には、ビタミンBが豐富に含まれてゐる上に、胃腸や心臟を强め、便通、利尿を整へる等の作用ある活性酵素や、腦神經に作用して麻痺を鎭める成分等をも含まれてゐるからです。

それ故この若素（わかもと）を服用すると、重い脚氣の人でも浮腫、麻痺、動悸等の症狀が輕くて快復に赴く譯で、不味い玄米食の必要もなく、至極簡便な療法だと歡用されてゐます。

この若素（わかもと）は東京芝公園大門、わかもと本舖榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から三百錠入、千錠入、粉末九〇瓦入、二七〇瓦入等が一日分僅々五六錢（小兒には二三錢）の廉價で發賣されてゐます。滿洲國、中華民國の各地藥店でも取次ぎ販賣して居ります

黃疸療養中 脚氣の併發

（和歌山）光野格彌

私事寺院生活のため胃腸を衰弱に導き、醫師の診察の結果「加答兒性黃疸」とのこと、食事進まず、日に〳〵衰弱を加へるばかりでした。

あれこれと療法を試みてゐる內に運惡く脚氣を起し、脚がズン〳〵して痛み、一時は本當にどうなることかと心配致しました。ふと床の中で「錠劑わかもと」の事を思ひ出し、藥店へ電話して一瓶取寄せ服用を始めました。

するとこれまでより食慾がぐつと進み、食物の本當の味が味はへる樣になりました。この寢ます間に驚へやうもございません。それに廉價な藥ですから續けて服用してゐる內にビールの樣な尿の色も次第に薄らぎ、食事は最早病氣前と同樣になり脚氣も輕快して脚の痛みが薄らいで參りました。勿論食餌の方も消化のよいものを選び「錠劑わかもと」は食事の度毎に缺かさず服用致しました。又カタル性黃疸の方は醫師の藥によつて全快近しといふ所まで漕ぎつけ、あまり順調な恢復振りに歡喜の外はございません。現在では何等病氣前の調子と違はず、努力を使つても少しも痛みを感じません。

全新京各個所對抗軟式庭球戰
十五日西公園擧行
申込は十三日正午迄
本社主催

新京軟式庭球界に淸新の氣を送る、榮えある武部關東局總長盃を繞つて乾坤一擲の制覇を爭ふ我社主催全新京各個所對抗軟式庭球大會は文字通り新京軟式庭球界を總動員して來る十五日午前九時より西公園コートに於て華々しく擧行されるが本社ではこれに先だち十日午後五時から滿鐵支社二階會議室に各個所代表者である斯界の權威中村（滿鐵）、工藤（日滿商事）、中川（興銀）、麻生（體育聯盟）、中村（領警）、山下（電業）、森田（宮內府）梅澤（市公署）、谷岡（電々）、菊地（經濟部）の諸氏を招き大會に關する諸般の打合せを行ひ左の事項を決定し終つて新京軟式庭球界の向上發展の一端に資する意味で座談會を開き隔意なき懇談を行ひ午後七時過ぎ散會した、

大會要項

▽期日　八月十五日午前九時より、但し雨天の際は翌週平日午後四時半より番組に依り適時擧行す
▽場所　西公園コート
▽出場資格　官廳、會社、商店を單位とす、一個所より二チーム以上の出場自由　一チーム　三組　但しオーダーは各試合變更自由
▽試合方法　三組の合計得點をそのチームの總得點としてその得點により勝敗を決定す、但し同點の場合は勝組の數に依る
▽申込締切　八月十三日正午迄
▽申込場所　新京日日新聞社
▽申込事項　所屬個所名、監督一名、審判一名、選手六名、補欠二名

本社では十三日午後軟式庭球聯盟と協議の上メンバーを審査しチーム單位に付き不適當と認める分は變更を求め同日午後組合にて抽籤するにつき希望團體は締切日十三日正午におくれぬやう至急申し込まれ度、なほ本日の座談會速記は近日本紙上に揭載報道する豫定である【寫眞は滿鐵支社における座談會】

〝酷寒滿洲〟に福音！
發汗制止法による凍傷豫防法成功
市橋同仁醫院長の努力で世界的研究完成さる

酷寒零下三十度の滿洲から凍傷患者を皆無ならしめるといふ醫學界の世界的研究が新京富士町同仁病院長醫學博士市橋貞三氏によつて完成された

市橋博士は昭和九年八月以來三ヶ年の永い間滿洲醫科大學教授久野寧博士の指導の下に「汗の制止法」を研究の結果この程「凍傷に對する靴內濕潤の意義に關する豫備實驗」ならびに「電流輸送による諸藥物の汗腺に對する作用並に卓効ある局所制汗法」に成功したが、同氏の研究によれば幾千の將兵が嚴寒の野に戰ふ時その手足部の妨害狀態は凡そ同樣であるに拘らず、その中少數者のみ凍傷に冒されるのは

一、靴內の濕潤による
一、手足部の冷却甚しきものは凍傷に冒され易い
一、この故に發汗に因る靴下の濕潤が凍傷の重大誘因をなす
一、多汗性體質で藥物學的機能檢査で迷走神經緊張症の傾向あるものは凍傷に罹り易い

以上が重要な原因をなしてをり、すなはち手足部の發汗制止と體溫の完全な保持が凍傷の豫防法であるといふのである、しかして博士は靴內濕潤と凍傷發生との關係を實驗研究の結果、發汗の制止法により凍傷の豫防法を完成されたものである、すなはち博士の發見によればフォルマリンを電流輸送すれば何等の副作用なくして相當長時間にわたつて制汗效力があり、これを實驗の結果、手足に一回のフォルマリン電流輸送を行ふと五日乃至十日間顯著な制汗を持續し、毎二日に一回宛四回反覆する場合は一ヶ月以上制汗を持續することが立證された故にこれを冬期に手足に施術すると完全な凍傷豫防が出來るわけである、なほ電流輸送器は眞空管整流による小形の携帶用が發明され、その價格も一個僅か卅圓位の廉價であるため一個の器械で數千人の凍傷豫防が講じられる譯である、同博士はこの研究の結果を實驗すると共に醫學溜洞の見地から今冬より關東軍ならびに治安部管下將兵に實驗し凍傷禍より救はんと目下計畫中で滿洲生活者にとつてこの上もない福音である【寫眞は凍傷豫防機と發明者市橋貞三氏】

今冬を期して研究結果を實驗
凍傷禍を防止……市橋博士談

右に關し市橋博士は左の如く語つた
發汗の制止法が凍傷の豫防法となることは三ヶ年の研究の結果立證されました、實際嚴寒の下に戰つてゐる兵士は、汗が漸次冷却するので氷水の中に足を入れてゐる樣なもので凍傷に冒されるのは當然です、若し完全なる發汗制止法が行はれゝば絕對に凍傷に罹らぬことが判ります、皇軍兵士に凍傷者が續出することはわれ等醫者として見るに忍びず何等かの方法で救はなくてはなりません、私は今冬を期して關東軍、治安部とも相談して私の研究の結果を實驗し凍傷禍を防ぎたいと思つてゐます

特別市公署主催　實業懇談會

特別市公署主催實業懇談會は十日午後三時から豐樂路中央飯店にて開催された　徐特別市長、鯉沼財務處長、董行政處長、奧村滿洲事情案內所長、池田實業協會新京支部長、前監察院長羅振玉氏、中村領事館員、特別市商會代表者等日滿實業關係者約五十名列席　董行政處長より一場の挨拶後徐市長、鯉沼財務處長等新會員五名を紹介、韓財政部大臣を顧問に推戴の件を可決して懇談に移り、特別市經濟懇談會と附屬地經濟懇話會との合併問題を中心に種々意見の交換を遂げ最後に關東軍顧問稻垣征夫氏より「滿洲移民と一般產業との關聯性」と題する有意義なる講演があつて一同會食を共にし同六時過ぎ散會した

一等車のない急行列車　きのふ始發

一等車のない急行列車が新京から始めて釜山に向ひ發車した、既報滿鐵、朝鮮鐵道局ではさる四日から〃ひかり〃を廢して代用車を午後五時三十五分發釜山ゆき臨時急行列車として運行することになり十日運行の運びとなつた、同列車は滿鐵の車輛とは格好も異ひ座席の取つけが全然異なつてお負けに、この列車には一等車が連結されてない大衆列車である、始發列車として乘客が少なくお客は廣々と座席を占めてゐた

寶山百貨店　きのふ上棟式

國都最新の設備を以て十月より開店の寶山百貨店は一部工事の竣工をみたので十日午後五時から在京知名士數百名を招いて盛大な上棟式を擧行した、式は神主の修祓、店主支配人の玉串奉奠とい嚴肅に行はれ終つて四階にて盛大なる祝宴に入り同七時散會した、同建物は總工費八十餘萬圓總建坪三千七百十七坪六一二で新發路百一番地より同四番地を占め地階一階地上八階の堂々たる近代的樣式の建築物で構造は全部鐵筋コンクリート外裝は全部特殊タイルに人造石を配置し內裝の床は人造磨き出しのタイル張り內壁にはプコクライトを使用し精美を極め外壁は人造磨き出しのテゾーテックスラフコートで天井はスタッコ式煖房裝置であるなほ着工は昨年八月卅一日竣工は本年八月廿一日設計石本建築事務所施工は山田工務所であるが同建物の高さは地上より屋上前塔までが二六米三〇同後塔までが三四米五四といふ國都最高のものである【寫眞は上棟式】

東洋大會選手　合宿練習開始

大滿洲帝國體育聯盟では過日擧行した南嶺の大會の記錄を基準として九日審査會を開き東洋大會出場選手を決定し十日より十八日迄合宿練習をなし二十日合宿選手對在新京選手の練習競技會を行ふことになつた

滿洲國チーム　あす歸京

全國都市對抗野球戰に滿洲代表として檜舞台に戰ひ惜しくも準決勝戰で敗れた滿洲國チームは十二日午後六時二十分着あじあで凱旋の豫定である

祝町西本願寺　十一日定礎式

新京祝町二丁目の西本願寺では既報の通り本殿の新築準備を續けてゐたが漸く起工の運びとなり來る十一日午後五時から大連開教總長來臨の下に定礎式を擧行する

打樹つ獻金塔
女學生の千人針も屆けられる　きのふ本社寄託のもの

◇……大同廣場に在る滿洲中央銀行新築場內三礒工業煖房工事作業所一同として釀出された金百八圓を十日午後本社へ恤兵獻金の依賴があり直ちにその手續きを了した

◇…新京市立病院に入院宿痾療養中、再起不能を悟り〃自分が死んだら解剖に附し存分に研究し、今度の胃癌治療の參考にされたい〃と遺言し去月八日死去した市內三笠町二丁目十三ノ二大作祐助氏の遺骸は遺言通り直ちに新京市立病院で新京醫學校山本教授執刀のもとに多數醫家立會解剖に附され斯界に貢獻するところ多かつたが去る八日の忌明に際し遺族、長男新八氏は香典返しの一部を割き金三十圓を國防獻金に捧げ故人の冥福を祈りたしと本社に屆けられた

◇……十四日午後本社を訪れた大和通り大葉商店主大葉宗善氏の長女政子さん、次女淸子さんの二人は資生堂石鹸の箱が持參別項の如き手紙を添へ恤兵獻金の依賴があつた、十錢と五錢の日本の穴あき白銅貨ばかり數へてみると十四圓五錢あつた、手紙の通り二人が貯金したものとうなづかれた、政子さんは室町小學校の六年生、淸子さんは同四年生である

雨が降つたり、あついなかを、お國のために働いて下さる兵隊さんに、私たちでおやつを食べなかつた時のお金やよそのおばさまに、いただいた、お金が少しですけれどたまりましたからあげて下さい
大和通三一　大葉宗善商店二人の娘
室町校　六年　政子
〃　四年　淸子

◇……敷島高等女學校一年生市內入船町三ノ三田中喜代子さんは街頭に立つて道行く人にたのんで出來上つた千人針を袋につめ十日午後本社へ北支の兵隊さんにあげて下さいと持參したので本社ではこれを恤兵金品收納係へ廻した

◇…市內永樂町三ノ三八島小學校六年生大山富美子さんと弟顯君の姉弟は平素兩親から戴くお小遣ひを溜めておいたもの二圓五十五錢を「僅かですが北支の兵隊さんにあげて下さい」と十日午後本社へ持參したので本社では直ちにこれを恤兵品收納係へ廻送の手續きをとつた

〃死の人生觀〃に共鳴　飛降自殺企つ
これも滿炭獨身寮屋上で

十日午後六時頃花園町二丁目滿炭獨身寮附近を徘徊する擧動不審の男を警戒中の署員が發見取調べたところ右は櫻木町二丁目佐本五郎（三〇）＝假名＝で佐本は昭和三年福島師範學校を卒業後師表として兒童教育に專念さらに進んで昭和十年師範專攻科に入り東洋史を專攻特に哲學に趣味を有し過度の勉強は神經衰弱となつて教職を退き來京して滿洲鑛業會社に勤務する實兄佐本三郎氏＝假名＝方に止宿、兒の慈愛に靜養中であつた一時小康を得阜新炭鑛に就職したが數ヶ月にして辭職し本年三月實兄の心盡しによつて妻帶したるも病狀面白からず離婚、爾來怏々として樂しまず病勢は募るのみであつたかゝる時過般前記滿炭獨身寮屋上より飛降り無慘な死を遂げた滿炭社員法學士近藤元正君の自殺事件は同人の心境に強い衝動を與へことに遺書〃死の人生觀〃に共鳴して死を決意するに至り次いで自殺の場所も同じ滿炭獨身寮屋上を選んで機會をねらつてゐたが愈々決行すべく獨身寮の屋上に昇る箇所を探し求め徘徊中を發見されたものであつた事情判明と共に身柄は實兄に引渡され目下監視中である

朝鮮人協和青年團　雨中の結成式
きのふ普通學校で嚴肅に擧行

さきに解散した新京朝鮮人青年會では今回協和運動に協力の目的で全滿に魁けて新京朝鮮人協和青年團結成の準備を進めてゐたが十日午後二時から新京普通學校々庭で結成式を擧行した、協和會制服に身を固めた六十餘名の會員、金子滿鮮拓理事、大下新京憲兵隊長、吉田協和會首都本部事務長その他二十餘名の來賓一同着席中教化部長の司會で式は始まり朝鮮人居留民會副會長李東濟氏の開會の辭、國旗掲揚式の順に式が進行するにつれて折から降り出した驟雨は風さい加へ、會場に整列せる團員はこの風雨にも身動きすらするものもなく、頭から打ち濡れて訓民詔書奉讀、青年團趣旨闡明、協和會新京朝鮮人分會幹事長朴準秉氏の經過報告、首都本部長代理吉田事務長から役員任命が行はれ雨が上つてからりと晴れた爽やかな空氣をついて團長の申榮雨氏から挨拶が述べられ續いて團員の宣誓、首都本部長代理吉田事務長及び李分會長からそれ〳〵訓辭が述べられ柴田總理事代理滿蒙日報社々長の祝辭がそれ〳〵代讀され最後に金子少將の音頭で天皇陛下皇帝陛下萬歲、新京朝鮮人協和青年團萬歲が三唱されて三時二十分嚴肅裡に閉會した【寫眞は式場】

山口氏母堂告別式

滿鐵新京支社長山口十助氏母堂故たけ刀自の告別式は十二日郷里三重縣飯南郡西黑部村高須で執行される

交通會社の松本さん釣の話となるとまるで無中、三時間でも五時間でもつきることを知らない▼しまいにはその心理にまで及ぶがその說明たるや堂に入つたもので見て來たやうなことを云ふ▼その人がある朝西公園の池で目の下一尺、八寸、といふ鯉を五つライを一匹釣つたからたまらない、會ふ人毎に報告する、是非一朝は見に來いと云ふ▼松本氏自身もすつかり味を占めてあくる朝もあくる朝も夜明け前から池の端でがんばるが一向釣れない▼浮をながめて一思案々々「今日は魚が外出して留守と見えるわい」「それにしても小さいのでも釣らんと歸りに買つてかへるところがないんだからなあ」

義人長七郎（八）

（禁上演映畫化）中川雨之助
竹枝一郎畫

旗本斬り（三）

「曲者が、當屋敷へ逃げ込んだところを、幽に見届けて參つたのだ。隠し立をすると反つて爲にならぬぞ」

雨宮小十郎が、刀に反を打たせて、睨みつけました。

「御身方は、町奉行手付けの者か」

言ふことが横柄に聞えるので、小十郎は面膨らして、

「我々は、苟くも、天下直參の旗本だ。不淨役人と間違へて呉れるな」

長七郎が、それに對して、又た何か言はうとした時です。よせばいゝのに仙之助、襖の合せ目に指を差込んで、細目に此方を覗いたものです。

ところが、運悪くそれが、黒取りまなこで八方を睨み廻してゐた平岡新九郎に見つかつたから堪まりません。

「あッ」

と叫ぶと、いきなり座敷へ踏ッ込んで、襖に手をかけようとしました。

「無禮者！」

大喝一聲。長七郎素早く立ち上つたかと見ると、早くも新九郎の襟髪取つて引戻す。引戻されて新九郎、タヂ／＼とうしろへよろめいて、廊際へドンと尻餅を搗いた。

「洒落臭いぞ青二才！」

小十郎は赫となつてしまつた。もう思慮も分別もありません、殊に此男は、聊か東軍流の心得があるので、一つにはその高慢も手傳つて、一歩踏み込むと、長七郎を目がけて、忽ち刀の鯉口を切つた。

が、鞘下五六寸抜いた處で、早くも長七郎の爲め、肱を支へられてしまつたので、それ以上抜くことが出來ない。

「己ッ！己ッ！」

ととられた肱を振解かうとして、しきりに身をもがいても駄目です。

彼は赤ら顔の四十男。その顔を一層眞赤にして、額には油汗がタラ／＼。猩々が夕立に遭つた恰好とでもいふのでせう。

その時です。バタ／＼／＼と、足音が近づいて、一人の武士が、廊先に現れて參りました。

「我君、是は何事の騒ぎでござります」

それは長七郎お氣に入りの家來で、鳥居塚兵衛といふ者、父君駿河大納言の忠臣で、大納言の最期まで忠節を盡した鳥居土佐守成次の倅で、塚兵衛は幼少の時から、長七郎君のお傅役で、お側に付き切の御奉公。父成次にも劣らぬ大忠臣で、當年三十五歳の男盛り、劍道は諸岡一刻流。柔道は秋山四郎左衛門の流を汲む揚心流の使ひ手で、强いといつてから、まだ餘ッぽど奥のある豪傑ですが、にはかに奥が騒がしくなつたので、何事だらうと驚いて、廊傳ひに驅つけて來たのです。

「塚兵衛か、よい處へ參つた、泥棒猫が三匹、戸惑ひをして塀を乘こえ、飛込んで參つたぞ、追拂つてしまへ」

「なにッ、天下の旗本を捉へて泥棒猫とは……己れ……奇ッ怪千萬……」

バタ／＼騒ぐ小十郎の肱を支へたまゝ、長七郎は、廊下さきまでグン／＼押出して來て、力任せに突放すと、縁先へころがり落ちた小十郎。

斯うなるとモウ盲滅法です。一刀スラリ抜き放つて、豪傑塚兵衛を睨むで斬りつけました。

新九郎に鐵太郎の兩人は、呆氣にとられて、只ぼんやりしてゐます。